

社会開発協力部報告書

インドネシア
ラジオ・テレビ放送訓練センター
計画打合せ調査団報告書

平成4年2月

国際協力事業団
社会開発協力部

社協二

J R

91 - 065

インドネシア
ラジオ・テレビ放送訓練センター
計画打合せ調査団報告書

平成4年2月

国際協力事業団

102
79
65
ARY

JICA LIBRARY



1115563(7)

インドネシア
ラジオ・テレビ放送訓練センター
計画打合せ調査団報告書

平成4年2月

国際協力事業団
社会開発協力部

国際協力事業団

26724

序 文

インドネシア共和国は民族及び文化の多様性を有する国家であり、1億8千万人の人口を擁することもあって、国家の統一や近代化促進の観点からラジオ・テレビを中心としたマス・メディアの果たす役割は極めて大きい。

政府はラジオ・テレビ放送網の充実と拡充を図るための手段として、放送関係者に幅広い基礎的知識と技能を付与するためのマルチ・メディア・トレーニング・センター（MMTC）をジョグジャカルタに建設することを計画し、日本に協力を要請してきた。

我が国は要請を受けてMMTCで実施される研修コースへの技術指導のため1983年から5ヶ年にわたるプロジェクト方式技術協力を開始すると共に、18億円の無償資金協力によりセンター施設の建設と機材調達を行った。

プロジェクト方式技術協力については、2度にわたり協力期間の延長が行われ平成4年(1992年)10月に終了することになっている。

今般、9ヶ月に及びプロジェクトの終了を1年後にひかえ、協力の進展ぶりを把握し、あわせて終了に向けての道筋をつけるための調査、協議を行うことを目的として、郵政省電気通信局電波管理部計画課 塩田地域計画係長を団長とする計画打合せ調査団を平成3年12月5日から14日までインドネシア国に派遣した。

本報告書は、同調査団の現地における調査及び協議結果を取りまとめたものである。

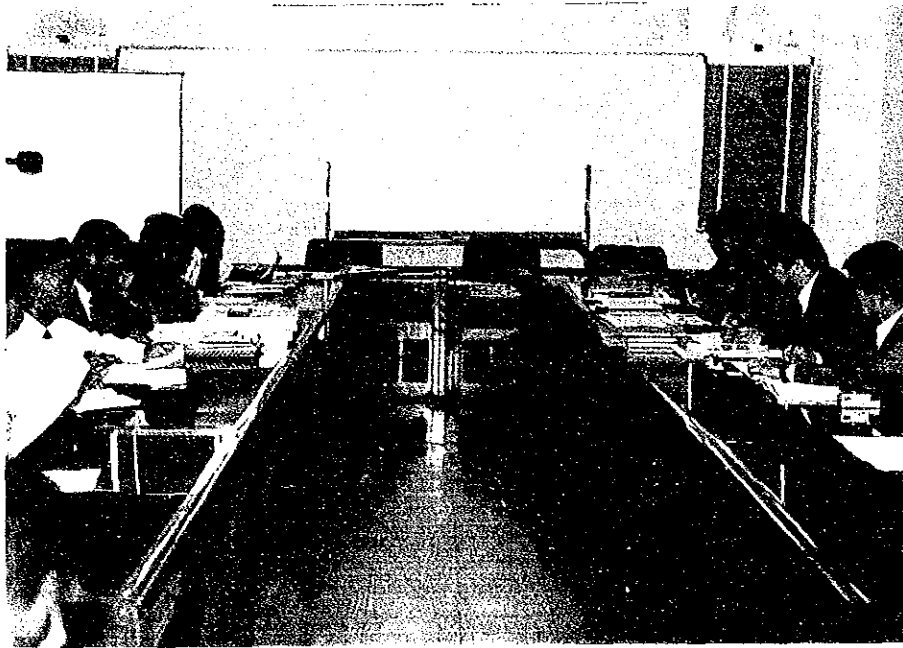
ここに、調査の任に当たられた調査団の方々、及びご協力いただいた外務省、郵政省、NHK、在インドネシア日本国大使館その他関係機関の方々に対し心から感謝の意を表すると共に、今後のご支援をお願いする次第である。

平成4年2月

国際協力事業団

社会開発協力部

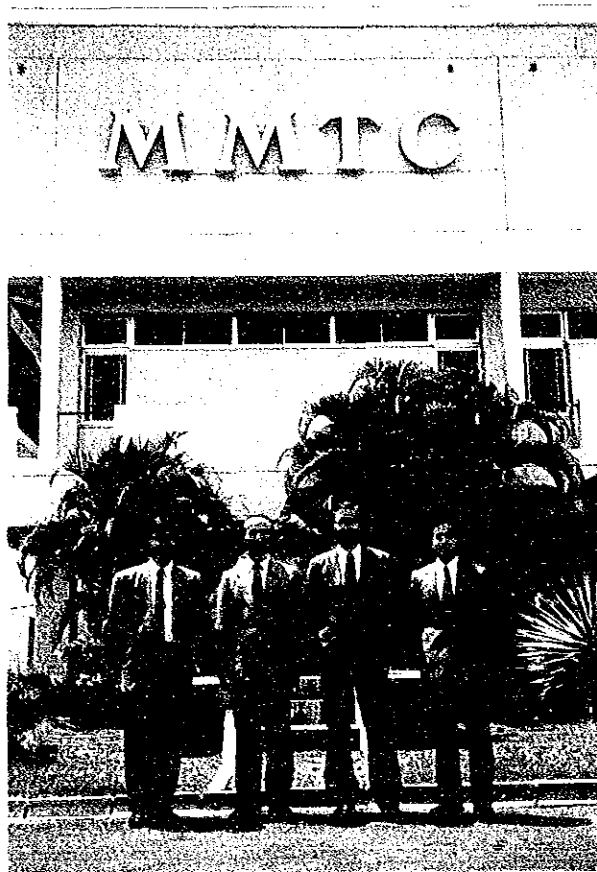
部長 中村 信



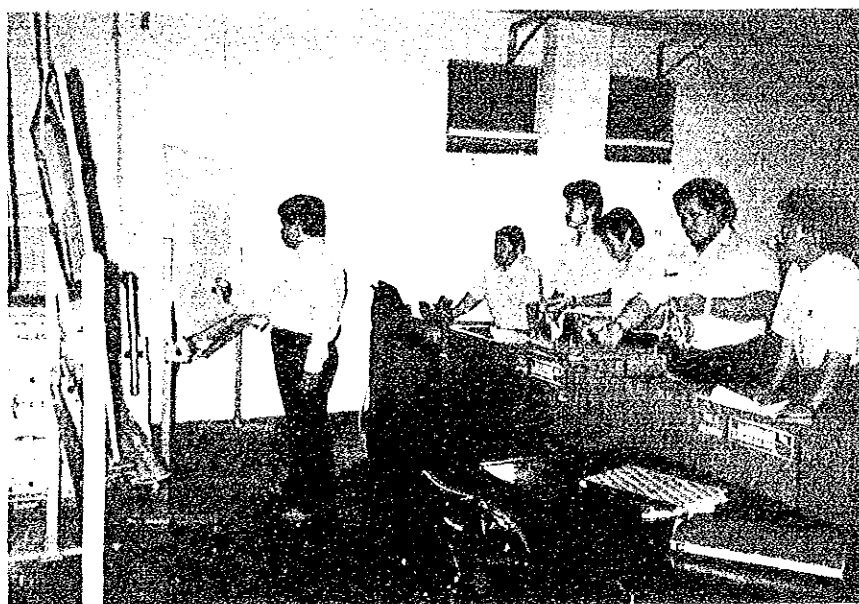
協議風景



ミニッツ署名式



調査団員（左から 齊藤団員、塩田団長、中川団員、篠山団員）



授業風景

目 次

序 文
写 真

1. 計画打合せ調査団派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者リスト	2
2. 調査協議結果概要	4
2-1 要約	4
2-2 団長所感	4
3. プロジェクトの進捗状況	6
3-1 訓練コースの実施状況	6
3-2 カリキュラムの整備状況	6
3-3 教科書・教材の整備状況	6
3-4 技術移転状況	6
3-5 供与機材の活用、保守・管理状況	6
4. プロジェクトの実施体制	8
4-1 組織・要員数	8
4-2 建物・施設	8
4-3 予算	8
4-4 合同委員会	8
5. ミニッツ署名	9
6. 対処すべき課題	14
7. 今後の協力計画	14

附属資料

① 訓練コースの実施状況	17
② 教材準備状況	24
③ カウンターパート育成状況評価表	41
④ インドネシア側のMMTC維持関係予算実績	45
⑤ 組織・要員数	46
⑥ MMTCに対するインドネシア側予算推移表	48
⑦ 合同委員会AGENDA	49
⑧ 1991年以降のMMTCに対する日本側協力予定	51
⑨ 合同委員会に提出されたMMTC所長報告書	52
⑩ 合同委員会に提出された専門家チーム報告書	79
⑪ プロジェクト作成広報用パンフレット	97

1. 計画打合せ調査団派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

インドネシアはラジオ・テレビ放送網の充実と拡充を図る必要があり、放送関係者に幅広い基礎的知識と技能を付与するための手段としてジョグジャカルタにマルチ・メディア・トレーニング・センター（MMTC）の設立を計画した。

我が国は要請を受けて、MMTCで実施される研修コースの技術指導のため1983年から5ヶ年にわたるプロジェクト方式技術協力を開始すると共に、18億円の無償資金協力によりセンター施設の建設と機材調達を行った。

技術協力に関しては、センターでの研修開始にごぎつた1985年に突然大統領令が公布され、DⅠ～DⅢの3段階に分けてのデプロマ制がセンターに導入されることが決定された。当初、日本が協力する内容は、DⅠに相当するベーシックなものであったが、デプロマ制度導入によりDⅡ、DⅢ実施のための準備に係わるアドバイスを行う必要が生じ、協力期間の途中でR/Dの一部変更を行った経緯がある。

プロジェクトは1988年10月の終了段階で協力継続の必要性が認められ、2ヶ年の延長が決定された。

さらに、1990年7月に行われた評価調査の結果、DⅡ、DⅢコース実施の準備のための協力が未だ不十分と判断され、2ヶ年の再延長が行われた。

今般、9ヶ年に及びプロジェクトの終了を1年後にひかえ、再延長2ヶ年間の目標であるDⅡ、DⅢコース準備への協力がどの程度進展しているかを把握し、1992年10月の終了に向けて道筋をつけるための調査、協議を行うこと目的とした計画打合せ調査団が派遣されることになったものである。

1-2 調査団の構成

団長	総括	塩田均	郵政省電気通信局電波管理部計画課地域計画係長
団員	訓練計画	中川正己	NHK海外企画局副部長
	協力企画	斎藤直樹	JICA社会開発協力部社会開発協力二課課長代理
	業務調整	篠山和良	JICA社会開発協力部社会開発協力第二課職員

1-3 調査日程

日順	月 日	曜日	移 動 及 び 業 務
1	12月5日	木	東京→ジャカルタ
2	6	金	情報省表敬、 日本大使館表敬 齋藤書記官と打合せ JICA事務所日程打合せ 国家開発計画省 (BAPPENAS) 表敬
3	7	土	ジャカルタ→ジョクジャカルタ
4	8	日	MMTC主催晩餐会
5	9	月	MMTC関係者との協議 団長主催昼食会
6	10	火	MMTC関係者との協議、ミニッツの作成 MMTC施設の視察
7	11	水	ジョクジャカルタ→ジャカルタ
8	12	木	調整日
9	13	金	ミニッツ署名、合同委員会 日本大使館、JICA事務所へ報告 専門家と個別面談
10	14	土	ジャカルタ→東京

1-4 主要面談者リスト

(1) 情報省

Mr. Emir H. Mengaweang

Secretary General

Mr. M. Arifin

Head of Bureau of Planning

(2) 国家開発計画省

Drs. E. Surjaman Wiradimadja

Head of Bureau of Religio, Information, and Law

(3) MMT C

Mr. Hoetojo Hoerip

Director of MMT C

Mr. Togar Lumban R.

Deputy Director for Administration

Mr. M. Kosasih

Deputy Director for Engineering

Mr. B. A. Siswantono

Deputy Director for Teaching

Mr. Siswadi

Coordinator of Instructor

(4) 日本大使館

齊藤 郁哉

書記官

(5) JICA事務所

高橋 昭

所長

布施 淳

所員

(6) プロジェクト専門家

上野 重喜

リーダー

小崎 俊彦

専門家

向尾 治

専門家

鳩木 健一

専門家

末満 広志

調整員

2. 調査協議結果概要

2-1 要約

プロジェクトの進捗状況について双方で確認したことを要約すると以下の通りであり、その旨ミニッツにまとめて日本・インドネシア双方が署名を行った。

- (1) D I コース実施に対する協力は1990年10月20日までに終了した。
- (2) D II・D III コース準備に対する協力はプロジェクト完了時(92年10月)までに終了する見通しである。

2-2 団長所感

インドネシアの国章のガルダには、「多様性の中の統一」という文字が記され、国の標語になっている。

この国は、赤道を中心に散在する1万3千余の島々から成り立つ、資源豊かな群島国家である。これらの島々に約300種族の人々が生活し、使われている言語は約250にもものぼり、それぞれ風俗、習慣などを異にしている。このような複雑な社会でありながら、一つのインドネシア民族、一つのインドネシア語で統一されてきている。

放送は、先進諸国においても重要なマスメディアの一つとして認識されている。その国における情報伝達手段として、また、教育への利用などの面でも重要視されている。

東西5000キロに及び広大な国土を有するインドネシアでも同様、社会情報の伝達、医療など生活知識の普及、言語の統一を含む教育の普及などにおいて、放送メディアの持つ有効性は十分に認識されているものと思われる。

インドネシアにおける「ラジオ・テレビ放送要員」の訓練・養成を目指した本件プロジェクトは、我が国からの無償資金協力により施設、機器の提供援助と、専門家の派遣による技術協力が順調に推移し、当初の目標が達成されつつある現状にある。

しかし、プロジェクト技術協力の期間が種々の要因によって2度延長されたことは、予期せぬことではあったが、日本・インドネシア両国にとって歓迎すべきことであったことと思われる。

この間、プロジェクトを現地において推進すべく、訓練計画の作成指導、教官の育成、施設・機器の技術指導などについて積極的に対応されたそれぞれの分野における数多くの専門家の方々には様々な御苦勞があったことと思われる。

1983年10月にスタートしたこのプロジェクト方式技術協力は、上記延長を経て、来年10月にその終了が予定されている。

しかし、D II、D III コースの本格的な実施が来年4月から開始予定であること、現在建設中の我が国からの無償資金協力によるスタジオなどの施設が来年3月に完成予定であること、既存の施設と併せての運用が技術協力終了時にはまだ初期段階であることなどから、プロジェクト方式技術協

力による協力の終了はやむを得ないとしても、専門分野に長じた複数の個別専門家の派遣による技術協力の継続など、狭くは我が国とインドネシアとの関係、広くは今後の我が国の開発途上国援助のあり方などを考慮した新たな発想による対応が必要になるものと思われる。

インドネシアにおける「放送」のさらなる発展のために、このプロジェクトの「ラジオ・テレビ訓練センター」への期待は非常に大きく、訓練生を通じて番組内容の質の向上などが図られてきている。

放送分野における技術協力のうち、世界でも例のない「教育機関」という性格上、プロジェクト方式技術協力による援助に一応の区切りは付けても、貴重な文化的国際協力の一つとして、今後とも、息の長い強力な援助を続けることが、これまでの経緯からみても重要なことと思われる。

3. プロジェクトの進捗状況

3-1 訓練コースの実施状況

訓練コースは、良好に実施されている。D I コースは、1990年10月に専門家の技術移転を完了した後、すべてカウンターパートの手により実施されている。D II コースは、4 コースが実施され、D III コースは、来年4月の開講に向け、準備が進められている。なお、詳細は附属資料①「訓練コースの実施状況」のとおりである。

3-2 カリキュラムの整備状況

まだ、試行段階であったD II・D III コースのカリキュラムは、11月11日から同月15日にコース別にワークショップを開き、詳細について検討した結果、最終版が完成した。シラバスについては、まだ検討の余地があるものの、プロジェクト協力期間終了時までには、完成する見込みである。

3-3 教科書・教材の整備状況

D II・D III コースの来年度実施予定分の教科書及び機材は、ほぼ完成している。また、来年度以降に予定されているコースの教科書及び教材は、現時点で3割程度作成済みであり、今後も順次作成されつつある。詳細は附属資料②「教材準備状況」のとおりである。

3-4 技術移転状況

D I の5コース、すなわち番組編成、番組制作、報道、制作・運用技術、送信技術各コースに配属されたカウンターパート13名、及びカウンターパート以外の主な担当教官5名への技術移転についてチェックを行った。

技術習得状況、及び教科指導、実技指導、教材作成、訓練計画作成、機材操作、機材管理、訓練評価、クラス運営各能力について評価を行った結果、総合評価としては1名を除く全員が合格、もしくはプロジェクト終了時までには合格ラインに達する見込みであることが確認された。

詳細は附属資料③「カウンターパート育成状況評価表」を参照願いたい。

なお、プロジェクト開始の1983年から1991年まで、49名のカウンターパートが日本に招待され、NHKをはじめとする関係各機関で研修を受けた。他方、この間に日本から派遣された専門家は、長期専門家23名、短期専門家30名に達している。

こうした交流を通じ、総じて順調な技術移転が専門家とカウンターパートの間で行われている。

3-5 供与機材の活用、保守・管理状況

供与機材の活用と保守・管理状況は好ましい状況にある。インドネシア側が機材保守のため毎年予算を手配していることも保守・管理が良好である大きな要因と思われる。インドネシア側の

MMTC維持に係る予算実績は附属資料④「インドネシア側のMMTC維持関係予算実績」の通りである。

なお、1983年にプロジェクト協力が開始されてから今日までの機材供与総額は約6億円に達している。

4. プロジェクトの実施体制

4-1 組織・要員数

MMTCは1985年に開所したが、翌86年には所長以下総務・教務・技術3部、及び専任教官合計74名（内正職員53名）の職員が配置される体制となっている。

職員数はその後毎年増え、5年後の1991年には正職員だけでも135名配置されるという飛躍的發展であった。詳細は附属資料⑤「組織・要員数」として添付するが、その要約は以下の通りである。

	1986年度	1991年度
所 長	1名	1名
総 務 部	37	55
教 務 部	11	26
技 術 部	15	37
専任教官	10	16
合 計	74名	135名

4-2 建物・施設

DⅡ、DⅢコースのための施設（無償資金協力）はほぼ完成し、92年4月以降同施設でコースを開講できる見込みである。

4-3 予算

インドネシア国の厳しい財政事情にも関わらず、同センターに対し予算措置上特別の配慮がなされてきている。詳細については附属資料⑥「MMTCに対するインドネシア側予算推移表」を参照願いたい。

4-4 合同委員会

12月13日に開催された合同委員会においては、インドネシア関係者に本プロジェクトの進捗状況と問題点について共通の認識を持つことができた。調査団からは、本プロジェクトは極めて順調に進んでおり協力期間内でプロ技を終了できる見込みであること、また同センターとテレビ・ラジオのジャカルタ中央局との人事交流が同センターの発展のために不可欠であることを伝えた。

合同委員会のAGENDAは附属資料⑦「合同委員会AGENDA」のとおりである。

5. ミニッツ署名

13日に日本、インドネシア双方によりミニッツへの署名が行われた。その内容は次ページの通りである。

THE MINUTES OF MEETING
BETWEEN THE JAPANESE MUTUAL CONSULTATION TEAM
AND THE MINISTRY OF INFORMATION OF THE REPUBLIC OF INDONESIA
ON THE RADIO AND TELEVISION TRAINING CENTRE PROJECT

The Japanese Mutual Consultation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (JICA) and headed by Mr. HITOSHI SHIODA (Assistant Director, Frequency Planning Division, Telecommunications Bureau, Ministry of Posts and Telecommunications) visited the Republic of Indonesia from December 5 to December 13, 1991.

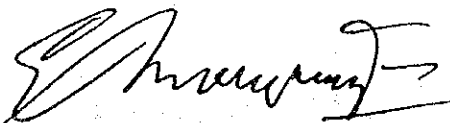
During its stay in the Republic of Indonesia, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Indonesian authorities concerned for smooth and successful implementation of the Radio and Television Training Centre Project in the framework of the establishment of the Multi Media Training Centre (MMTC) in the Republic of Indonesia (hereinafter referred to as "the Project").

As a result of the discussions, both the Team and the Indonesian authorities concerned made the following Minutes of Meeting which is attached hereto.

Jakarta, December 13, 1991

塩田 均

HITOSHI SHIODA
Leader, Mutual Consultation Team
Japan International
Cooperation Agency,
JAPAN



EMIR H. MANGAWIANG
Secretary General
Ministry of Information
THE REPUBLIC OF INDONESIA

THE ATTACHED DOCUMENT

I. PROGRESS OF THE PROJECT AFTER JULY, 1990

Both the Team and the Indonesian authorities concerned recognized that the Project has been progressing well, as described below, and confirmed that :

- The cooperation for implementation for D I had already been finished by October 20, 1990.
- The cooperation for preparation of D II and D III is expected to be completed by the end of the present cooperation period.

1. Course Implementation

(1) Diploma I (D I)

All five courses have been available since Fiscal Year 1989/1990.

(2) Diploma II (D II)

Of eight courses planned for D II, four courses, one of which was added to those of the previous two fiscal years, have been in progress.

(3) Diploma III (D III)

It is scheduled to commence in Fiscal Year 1992/1993.

2. Technical cooperation for preparation of D II and D III

(1) Improving the curricula and syllabi

The Project proposed curricula and syllabi were completed by both the Indonesian and Japanese sides in September 1990. Improvement of these is now proceeding favourably. E

(2) Producing teaching materials

Progress is being made and nearly 200 teaching materials have now been completed.

(3) Technology transfer

Steady progress of improving the capabilities of the instructors is being made.

II. MATTERS TO BE SOLVED

Both the Team and the Indonesian authorities concerned recognized the importance of the matters pointed out at the meetings and the Indonesian side agreed to take necessary measures to cope with them.

1. To realize the implementation schedule of the D II and D III courses in Fiscal Year 1992/1993, namely, implementation of five D II courses and the first three D III courses due to sufficient budget provided by the Government.
2. To seek the best way to secure enough budget required for conducting both D II and D III courses.
3. To continue to acquire an adequate number of qualified instructors in accordance with the course implementation schedule.
4. To establish the personnel exchange system of instructors between RRI/TVRI and MMTC in order to secure them with experience and knowledge in active service.
5. To strengthen the maintenance and repair system of equipment and facilities.



III. FUTURE PROSPECT UNTIL OCTOBER 20, 1992

Based on the recognition described in I and II, both the Team and the Indonesian authorities concerned confirmed agreement :

1. To continue and strengthen present activities.
Especially, Japanese side lays importance on assisting in maintenance of equipment.
2. To take necessary measures for improving the matters pointed out in II above.
3. To exert best efforts to accomplish the goal of the Project within the present technical cooperation period. E

(11)

6. 対処すべき課題

本プロジェクトの今後の対処すべき課題は次の通りである。

(1) 予算の確保

DⅡ、DⅢコース実施計画通り行われるための予算を獲得する必要がある。

(2) 教官の質・量の充実

TVRI/RRIとの定期的な人事交流が必要である。

(3) 機材の保守・修理体制

現地で修理用品の調達ルート開拓する必要がある。

さらなる予算の獲得に努める必要がある。

7. 今後の協力計画

今後の日本側による協力は、以下に述べることの実施が重要かつ必要である。

(1) 日本側の協力内容

現行の協力を継続するも特に機材保守に力を入れた協力を行う(機材修理チームの派遣など)。

(2) 評価調査団の派遣(92年5月～6月)

(3) プロジェクト終了後の対応方針については附属資料⑦「91年以降のMMTCに対する日本側協力予定」のスケジュールを予定している。

附属資料

① 訓練コースの実施状況

DIコース実施状況

1991. 4. 22
(単位:人)

回数	期間	コース(分野)名	訓練生数	国試合格者数	応募者数
第 1 回 BII+BIII →DIの1学期分	1985. 7. 31 ~1986. 2. 18	番組制作	12		358
		ニュース報道	12		
		夕刊/主調整技術	29		
		送信技術	19		
		小計	72		
第 2 回	1986. 4. 12 ~1987. 3. 17	番組制作	20	18	241
		夕刊/主調整技術	20	18+ *1	
		小計	40	36+ *1	
第 3 回	1987. 4. 27 ~1988. 3. 26	番組制作	20	19+ *1	213
		ニュース報道	20	19+ *1	
		夕刊/主調整技術	20	18+ *2	
		小計	60	56+ *4	
第 4 回	1988. 4. 16 ~1989. 3. 18	番組制作	18	17+ *1	329
		ニュース報道	18	16+ *2	
		夕刊/主調整技術	18	17+ *1	
		送信技術	18	16+ *1	
		小計	72	66+ *5	
第 5 回	1989. 4. 4 ~1990. 3. 16	番組編成企画	24	24	392
		番組制作	24	24	
		ニュース報道	24	24	
		夕刊/主調整技術	24	24	
		送信技術	24	24	
		小計	120	120	
第 1 回 補講分 →DIの2学期分	1989. 9. 4 ~1990. 3. 16	番組制作	7	7	48
		ニュース報道	6	6	
		夕刊/主調整技術	14	14	
		送信技術	13	13	
		小計	40	40	
第 6 回	1990. 4. 16 ~1991. 3. 15	番組編成企画	24	19	432
		番組制作	24	22	
		ニュース報道	24	23	
		夕刊/主調整技術	24	22	
		送信技術	24	22	
		小計	120	108	
第 7 回	1991. 4. 22 ~1992. 3.	番組編成企画	24		
		番組制作	24		
		ニュース報道	24		
		夕刊/主調整技術	24		
		送信技術	24		
		小計	120		
合計			644	436	2,013

*印は 1990.3 の国家試験(追試)に合格した者を示す

DIICコース実施状況

1991. 4. 22
(単位：人)

回数	期間	コース(分野)名	訓練生数	国試合格者数	応募者数
第 1 回	1989. 4. 4 ～1990. 3. 16	部門別番組制作	12	12	86
		番組/ニュース 原稿執筆	11	11	
		スタジオ制作技術	12	12	
		小 計	35	35	
第 2 回	1990. 4. 16 ～1991. 3. 15	部門別番組制作	12	12	119
		番組/ニュース 原稿執筆	12	12	
		スタジオ制作技術	12	12	
		小 計	36	36	
第 3 回	1991. 4. 22 ～1992. 3.	部門別番組制作	12		
		放送ジャーナリズム	12		
		番組/ニュース 原稿執筆	12		
		スタジオ制作技術	12		
		小 計	48		
合 計			119	71	205

MMTC・D I コー ス実施状況表 (1/1)

1991年4月現在

科目	区分	1985/86	1986/87	1987/88	1988/89	1989/90	合格 訓練
1. 番組編成企画 (Programs Compilation Planning)	専門家	84/5/16	白石 克己	10/5	長谷川 晃	11/22 上野重喜	24 24
	計画 実施	B I B II B III	D I	D I	D I	D I (24/24)	
2. 番組制作 (Program Lines Production)	専門家	84/7/2	坂元 多	10/5	鈴木 勇	10/10 時松 佑児	87 94
	計画 実施	B I B II B III DI前期 (12/12)	D I D I (18/20)	D I D I (20/20)	D I D I (18/18)	D I D I (24/24) DI (7)	
3. ニュース報道 (News & Current Affairs Reporting)	専門家	84/7/2	磯部 洋一郎	7/12	7/12 長谷川 晃 (兼任)	10/21 11/22 上野重喜	68 74
	計画 実施	B I B II B III DI前期 (9/12)	D I D I (20/20)	D I D I (20/20)	D I D I (18/18)	D I D I (24/24) DI (6)	
4. スタジオ及び 三調整の運用技術 (Studio & Master Control Techni- que Operation)	専門家	84/7/2	園田 修一郎	7/1 9/30	9/29 10/10	小林 修	95 111
	計画 実施	B I B II B III DI前期 (27/29)	D I D I (19/20)	D I D I (20/20)	D I D I (18/18)	D I D I (24/24) DI (14)	
5. 送信技術 (Transmission Operation)	専門家	84/5/16	佐藤 文雄	10/5	10/5		54 61
	計画 実施	B I B II B III DI前期 (16/19)	D I D I (18/20)	D I D I (18/18)	D I D I (17/18)	D I D I (24/24) DI (13)	
6. 調整員 (Coordinator)		84/5/30	柴田 信二	5/12	5/29 浦上 浩三	10/5	328
応募/訓練生/合格者数		358/72/64	241/40/37	213/60/60	329/ 72/ 71	392/120/120 (+40:DI '85)	364

(注) 1. 1985年度はMMTCローカリストのみ実施された。89年度の40名はこの85年度D I 前期修了者64名中の40名である。
2. 科目別の「合格者数」は国家試験合格者数である。

MMTC・D I コー ス 実施状況 & 計画表 (1/1)

A. D I コー ス

科目	区分	1990/91	1991/92	1992/93	1993/94	1994/95	合格
1. 番組編成企画 (Programs Compilation Planning)	専門家 計画	一上野 重喜 (DIIA)	D I	24人	24人	24人	43
	実施	D I (19/24)	D I (/24)				48
2. 番組制作 (Program Lines Production)	専門家 計画	一時松 佑児 (DIIA)	D I	24人	24人	24人	109
	実施	D I (22/24)	→ D I (/24)				118
3. ニュース報道 (News and Current Affairs Reporting)	専門家 計画	一上野 重喜 (兼任) (DIIA)	D I	24人	24人	24人	91
	実施	D I (23/24)	→ D I (/24)				98
4. スタジオ及び 主調整の運用技術 (Studio and Master Control Technique Operation)	専門家 計画	一小林 修一 (DIIA)	D I	24人	24人	24人	117
	実施	D I (22/24)	D I (/24)				135
5. 送信技術 (Transmission Operation)	専門家 計画	一下地 昇一 10/21	D I	24人	24人	24人	76
	実施	D I (22/24)	D I (/24)				85
6. 調整員 (Coordinator)		一池城 直一 10/21	未滿 広志	10/21			436
応募数 / 訓練生数 / 合格者数		432 / 120 / 108	/ 120 /	(120)	(120)	(120)	484

(注) D I に対する技術協力は'90/10/21 をもって終了した。

B. DIIコース MMTCC・DIIコース実施状況&計画表(1/1) 1991年8月現在

科目	区分	1989/90	1990/91	1991/92	1992/93	1993/94	1994/95	合格 訓練
1. 放送番組企画 (Program Broadcasting Planning)	専門家 計画 実施	長谷川晃 11/22	上野 重喜 10/21	11/21		12人	12人	
	専門家 計画 実施		時松 佑児 4/8 D II DII(12/12)	小崎 俊彦 4/21 D II DII(12/)	10/21	12人	12人	24 36
3. 放送 ジャーナリズム (Broadcasting Journalism)	専門家 計画 実施	長谷川晃 11/22	上野 重喜(兼任) 10/21	11/21		12人	12人	12
	専門家 計画 実施		長谷川晃 11/22 D II DII(11/11)	上野 重喜(兼任) 11/21 D II DII(12/)	10/21	12人	12人	23 35
5. 放送 パフォーマンス (Broadcasting Performance)	専門家 計画 実施		時松 佑児 4/8	小崎 俊 4/21	10/21			
	専門家 計画 実施		小林 修 4/8 D II DII(12/12)	藤木 健 4/21 D II DII(12/)	10/21	12人	12人	24 36
6. スタジオ制作技術 (Studio Production Technique)	専門家 計画 実施		下地 昇 10/9	10/21				
	専門家 計画 実施			向尾 治 10/9	10/21	12人	12人	
8. 修理技術 (Technique Repair)	専門家 計画 実施		小林 修 4/8	藤木 健 4/21	10/21			
	専門家 計画 実施							
応募数/訓練生数/合格者数		86/35/35	119/36/36	/48/	(60)	(72)	(72)	71 97

科 目	担当専門家	1991/92	1992/93	1993/94	1994/95
1. 放送管理 (Broadcasting Management)	上野 重喜 '89.11.22～ 91.11.21				
2. ニュース、報道番組制作 (News & Information Program Production)	上野 重喜 (兼任)				8人
3. 教育、宗教番組制作 (Education & Religion Program Production)	小崎 俊彦 '91.4.8～ 92.10.21			8人	
4. 文化、娯楽番組制作 (Culture & Entertainment Program Production)	小崎 俊彦 (兼任)		8人		8人
5. 番組美術デザイン (Technical & Artistic Design for Production)	小崎 俊彦 (兼任)				
6. 台本執筆 (Scenario & Storyboard Writing)	上野 重喜 (兼任)		8人	8人	8人
7. 演説およびドラマ演技 (Public Speech & Drama Acting)	小崎 俊彦 (兼任)				
8. 装置技術 (Apparatus Engineering)	鶴木 健一 '91.4.8～ 92.10.21		8人	8人	8人
9. 公開スタジオ、中継番組制作技術 (Open Studio & Mobile Production Engineering)	向尾 治 '90.10.9～ 92.10.21				
10. 衛星、地上系伝送技術 (Satellite & Terrestrial Transmission Engineering)	向尾 治 (兼任)				
11. 保守 (Maintenance)	鶴木 健一 (兼任)				
訓練生数合計			(24)	(24)	(32)

ディプロマコース以外の訓練実施状況表

1991.08.26

Year	Program	Duration (days)	Number of Participants	Conducted by
1985 / 1986	① TV Programme & Production Course	35	22	TVTC
1986 / 1987	① TV Transmission ② Radio Transmission	90 39	24 25	MMTC/ TVTC RTC
1987 / 1988	① TV Stage Design Course ② Producer of Radio Broadcasting Course I ③ TV Studio Engineering ④ Specialisation in production of TV Drama ⑤ Radio Transmitter Maintenance ⑥ Microwave Engineering ⑦ Producer of Radio Broadcasting Course II ⑧ Introduction to Radio and Television Technology ⑨ Broadcast Management Radio-Television	19 40 210 30 40 21 40 20 7	16 20 12 20 20 12 20 10 19	ADAB/ MMTC RTC TVTC RTC RTC TVTC/ AIBD/ TVRI RTC AKMIL Magelang/ MMTC AIBD/ ADAB/ MMTC
1988 / 1989	① Introduction of TV Transmission Technique ② Rural Broadcasting (DBU/ Development Broadcast Union) ③ Increasing Profession Ability ④ Maintenance of Radio Transmission Technique ⑤ Basic Radio Announcing ⑥ Film Movie Processing ⑦ Measuring of TV Transmission Technique ⑧ Program Instruction of Agriculture on Radio and TV ⑨ Teaching Methodology ⑩ Traditional Media ⑪ TV Documentary & Feature ⑫ Applied Statistics for Broadcast Management ⑬ Aspects of High Technology	90 40 90 40 40 3 31 45 12 12 6 22 24	18 18 15 20 15 15 12 24 15 15 19 15 15	TVTC CIDA/ AIBD/ TVRI MMTC RTC RTC PT. Inter Delta/ Kodak Australia AIBD/ TVTC Univ. of Gajah Mada MMTC - IKIP MMTC - ISI Goethe Institute / WDR/ MMTC MMTC - Univ. of Gajah Mada MMTC - Univ. of Gajah Mada
1989/ 1990	① Lighting Technic for Colour Television ② Studium General on Agriculture Broadcasting ③ Radio Program Production ④ Radio Program Workshop on Traditional Medicine	11 5 8 4	33 30 14 10	MMTC-AIBD, AAMP Goethe Institute / MMTC MMTC-DBU Goethe Institute / MMTC
1990/ 1991	N I L	0	0	
1991/ 1992	① Project Organization and Self Management for Television Drama Producers	20	14	Sender Frieis Berlin, Germany
TOTAL		1,094	542	

② 教材準備状況

1991.11.

評価基準： A=完成、コースは十分に実施可能。 B=ほぼ完了、コース開始可能。
C=準備中、コース開始、近々可能。 D=計画段階

DIPLOMA	コース名 実施開始(予定)年	テキスト・理論	テキスト・応用	テキスト・実習	マニュアル	視聴覚教材	総合評価
I	PROGRAM COMPILATION PLANNING 番組編成企画 1989	A	A	A	≡	A	A
	PROGRAM LINES PRODUCTION 番組制作 1985	A	A	A	-	A	A
	NEWS AND CURRENT AFFAIR REPORTING ニュース報道 1985	A	A	A	-	A	A
	STUDIO AND MASTER CONTROL TECHNIQUE OPERATION スタジオ及び主調整の運用技術 1985	A	A	A	A	A	A
	TRANSMISSION OPERATION 送信技術 1985	A	A	A	A	A	A
II	PROGRAMMES BROADCASTING PLANNING 放送番組企画 1992	A	A	B	-	A	A
	PROGRAM PACKAGE PRODUCTION 部門別番組制作 1989	A	A	B	-	A	A
	BROADCAST JOURNALISM 放送ジャーナリズム 1991	A	B	B	-	B	B
	SCRIPT/STORY WRITING 番組・ニュース原稿執筆 1989	A	B	B	-	A	A
	BROADCASTING PERFORMANCES 放送パフォーマンス	D	D	D	-	B	D
	STUDIO PRODUCTION TECHNIQUE スタジオ制作技術 1989	A	B	B	A	A	A
	TECHNICAL REPAIR FOR STUDIO AND MASTER CONTROL EQUIPMENT スタジオ主調の修理技術	A	B	B	A	B	B
TRANSMISSION TECHNIQUE 送信技術 1992	A	B	B	A	C	B	

DIPLOMA	コース名 実施開始(予定)年	テキスト・理論	テキスト・応用	テキスト・実習	マニュアル	視聴覚教材	総合評価
取	BROADCASTING MANAGEMENT 放送管理	D	D	D	-	D	D
	PROGRAM NEWS AND INFORMATION PRODUCTIONS ニュース情報番組制作 1994	C	D	D	-	B	C
	PROGRAM EDUCATION AND RELIGION PRODUCTIONS 教育宗教番組制作 1993	B	C	B	-	A	B
	PROGRAM CULTURAL AND ENTERTAINMENT PRODUCTIONS 文化娯楽番組制作 1992	B	B	C	-	A	B
	TECHNICAL AND ARTISTIC PRODUCTION DESIGNS 番組美術デザイン	C	D	D	-	C	C
	SCENARIO AND STORYBOARD WRITINGS 台本執筆 1992	A	B	B	-	A	B
	PUBLIC SPEECH AND DRAMA CASTINGS 演説およびドラマ演技・配役	D	D	D	-	B	D
	PRODUCTION STUDIO ENGINEERING スタジオ制作技術 1992	C	C	C	C	B	C
	POST PRODUCTION AND MASTER CONTROL ENGINEERING ポストプロダクション・主調技術	C	C	D	C	C	C
	TRANSMISSION ENGINEERING AND MAINTENANCE 送信技術と保守	B	C	D	C	C	C
STUDIO AND MASTER CONTROL EQUIPMENT MAINTENANCE ENGINEERING スタジオおよび主調の保守技術	B	C	D	C	C	C	

1. Programming and Management	
COMPILING OF NHK'S BROADCASTING PROGRAMS	(P. 12)
ESTABLISHMENT AND MANAGEMENT OF BROADCASTING STATION	(P. 12)
RADIO IN THE TV AGE	(P. 9)
THE BROADCAST LAW (JAPAN)	(P. 54)
THE PRESERVATION OF VISUAL MATERIAL IN ARCHIVE	(P. 43)
HOW TO PRODUCE MINI PROGRAMS	(P. 14)
MEMO ON PROGRAMMING WORK	(P. 13)
INTRODUCTION TO METHODOLOGY RESEARCH	(P. 46)
FORMATOLOGY OF TV PROGRAMS	(P. 102)
SCIENCE COMMUNICATION	(P. 5)
THE ERA OF TELEVISION AFTER THE WORLD WAR I	(P. 51)
INTRODUCTION TO RESEACH METHOD	(P. 126)
THE LIBRARY WORKS	(P. 88)
GUIDE BOOK FOR RECORD FILING	(P. 33)
INTORODUCTION TO PUBLIC OPINION SURVEY	(P. 10)
BAGIAN MEMPRODUKSI ACARA MINI	(P. 12)
BERLATIH MENJADI INSTRUKTUR DOSEN YANG EFEKTIF	(P. 92)
PRESS HUKUMU DAN TEKNOLOGI	(P. 58)
PRODUKSI ACARA TELEVISI	(P. 295)
MENDIRIKAN DAN MANAJEMIN STASIUM PENYIARAN	(P. 27)
AUDIENCE RESEARCH	(P. 222)

BROADCASTING SYSTEM AND PROGRAMMING	(P. 86)
PUBLIC OPINION SURVEYS AND AUDIENCE RESEARCH	(P. 32)
TV AND RADIO	
RADIO PROGRAMME PRODUCTION	
MASS COMMUNICATION THEORY, BY DENIS MCQUAIL	
TELEVISION AND ITS AUDIENCE, BY BARWISE/EHRENBERG	
2. News and Programme Production	
THE NEWS COVERAGE AND NEWS EDITING	(P. 30)
TELEVISION NEWS PRODUCTION IN ENG ERA	(P. 50)
ENG:THE IDEAL EQUIPMENT FOR TV NEWS COVERAGE	(P.100)
INSTRUCTIONAL MANUAL (NEWS REPORTING COURSE).	(P. 48)
RADIO-TV JOURNALIST	(P. 50)
INTERVIEW AND NEWS REPORTING	(P. 30)
MEMO ON GATHERING NEWS MATERIALS	(P. 15)
NEWS PROGRAM PRODUCTION	(P. 40)
PRODUKSI BERITA TELEVISI	(P. 80)
KONTINUITAS GAMBAR	(P. 33)
ILMU KOMUNIKASI DAN KOMPONEN KOMUNIKASI	(P. 122)
PERANGKAT LUNAK TV -SERI1-	(P. 195)
DITTO -SERI2-	(P. 43)
DITTO -SERI3-	(P. 92)
BAGAIMANA MEMPRODUKSI ACARA PENDIDIKAN TV	(P. 38)

PRODUKSI ACARA TELEVISI	
ON TV DOCUMENTARIES	
UNDERSTANDING NEWS	J. Hartley
GETTING INTO BROADCAST JOURNALISM	G. Jackson
TELEVISION NEWS ANATOMY AND PROCESS	M. Green
JOURNALIST MADE SIMPLE	D. Wainwright
TECHNIQUE CLEARLY WRITING	D. Chaney
HOW TO CONDUCT SOCIAL SCIENCE RESEARCH	Mercado C. M.
BASIC RESEARCH METHOD IN SOCIAL SCIENCE	Simon J. L.
MASS COMMUNICATION	Charles Wright
THE BROADCAST PRIMER	DEUCHE WELLE
THE WORK OF THE TELEVISION JOURNALIST	ROBERT TYRELL
A VIEW ON A NEW SUBJECT	
INTRODUCTION OF PROGRAMME PRODUCTION	(P. 26)
INTRODUCTION OF PROGRAMME PRODUCTION (CONT.)	(P. 14)
PROCEDURE OF TV PROGRAMME PRODUCTION	(P. 8)
PROCEDURE OF TV PROGRAMME PRODUCTION (IND Ver)	(P. 6)
INTRODUCTION FOR AGRICULTURAL PROGRAMME IN INDONESIA	(P. 60)
HOW TO MAKE A SCRIPT FOR AGRICULTURAL PROGRAMME	(P. 50)
PERENCANAAN DAN PENYUSUNAN ACARA TELEVISI	(P. 12)
INTRODUCTION TO TELEVISION PROGRAMME PRODUCTION	(P. 127)
OPERETTA; A PALACE FOR AKING	(P. 7)

PADAGOGIC;SPIRITUAL SCIENCE	(P. 12)
QUALITATIVE EDUCATION RESEARCH METHOD	(P. 25)
SCENARION ANALYSIS;ON THE INSTRUCTORS' NEEDS AT MMTC	(P. 33)
THE ART OF PUBLIC SPEECH	(P. 7)
THE PATTERN OF PRODUCTION AND BROADCASTING OF TV PROGRAMME	(P. 8)
EFFECTIVE PROGRAMMNG IN EDUCATIONAL PROGRAMME	(P. 10)
THE TECHNIQUES FOR UTILIZATION ON MULTI MEDIA FOR RELIGIOUS COMMUNICATION IN THE FRAME OF NATIONAL DEVELOPMENT	(P. 10)
FORMATOLOGY OF TV PROGRAMME	(P.102)
RADIO TELEVISION CORPORATION	(P. 24)
THE ENHACEMENT AND DEVELOPMENT OF MADIA RADIO	(P. 46)
AN INTRODUCTION TO THE PROGRAMME SLIDE PRESENTATION	(P. 35)
VIDEO PROGRAMME SCRIPTT WRITING	(P. 51)
THE BRA OF TELEVISION AFTER THE WORLD WAR 2 AND AN COMPREHENSIVE OBSERVATION TV MEDIA AS MASS COMMUNICATION	(P. 51)
TELEVISION DESCRIPTION SYSTEM	(P. 26)
THE DEVELOPMENT SATELLITE TECHNOLOGY	(P. 19)
THE ARTISTICS DESIGN	(P. 25)
RADIO AND TELEVISION AS A MEAN OF EDUCATION MEDIA	(P.167)
BROADCAST MANAGEMENT	(P.120)
INTRODUCTION TO MANAGEMENT OF R-TV PRODUCTION	(P.105)
PLANNING AND CONSTRUCTING A PROGRAMME	(P. 38)

RADIO FOR PEOPLE'S HAPPINESS	(P. 31)
PROGRAMME FORMATS FOR EDUCATIONAL PROGRAMMES	(P. 7)
TATA RIAS TELEVISI DAN FILM	(P. 196)
BROADCAST SURVEY -1	(P. 9)
DITTO -2	(P. 21)
DITTO -3	(P. 17)
DITTO -4	(P. 82)
DITTO -5	(P. 51)
3. Broadcasting Engineering	
VIDEO MIXER & SPECIAL EFFECT	(P. 53)
SYNCHRONIZING PULSE	(P. 33)
EDITING	(P. 16)
TEKNIK PEREKAMAN VIDEO	(P. 12)
COLOR TV CAMERA AND VIDEO MIXER	(P. 43)
GLOSSARY OF BROADCAST	(P. 331)
HOE TO ADJUST 'NC-37' COLOR CAMERA	(P. 11)
THE FUNDAMENTAL THERY OF CCD	(P. 14)
TELEVISION MEASUREMENTS PAL SYSTEMS	(P. 62)
VITS 625 LINE SYSTEMS	(P. 13)
ENGINEERING LECTUR NOTE	(P. 111)
BASIC OF MICROWAVE	(P. 20)

MEASUREMENT OF TV TRANSMITTER CHARACTERISTICS	(P. 52)
MICROWAVE TRAINING BENCH	(P. 73)
THE CHARACTER OF LENS	(P. 150)
THE TECHNIQUE OF CAMERA EQUIPMENTS	(P. 150)
THE TECHNIQUE OF VTR EQUIPMENTS	(P. 150)
THE TECHNIQUE OF VISION MIXER EQUIPMENTS	(P. 220)
THE VIDEO TECHNIQUE 1, 2, 3	(P. 220)
THE TV COLOR TECHNIQUE	(P. 220)
CAMERA OPERATION AND ITS APPLICATION	(P. 15)
POWER SUPPLY SYSTEM	(P. 35)
LIGHTING	(P. 70)
VIDEO TECHNIC 1, 2, 3	(P. 120)
COLORIMETRY	(P. 60)
BASIC TELEVISION	
VIDEO EDITING	(P. 39)
VIDEO TAPE RECORDER	(P. 42)
GELOMBANG SUARA	(P. 28)
PETUNJUK PERAKTIS TEKNIK SUARA RADIO-TELEVISI	(P. 36)
TEKNIK SUARA RADIO-TELEVISI	(P. 21)
PENEMPATAN MICROPHONE	(P. 24)
KESEIMBANGAN KESELARASAN SUARA	(P. 23)
KONTINUITAS GAMBAR	(P. 28)

PICTURE CONTINUITY	(P. 28)
TEKNIK PEREKAMAN GAMBAR	(P. 93)
PICTURE RECORDING TECHNIQUE	(P. 93)
PEMELIHRAAN PEMANCAR SIARAN	(P. 16)
MAINTENANCE OF BROADCASTING TRANSMITTER	(P. 16)
TEKNIK TRANSMISI FREKUENSI TINGGI	(P. 89)
DASAR-DASAR TEKNIK TRANSMISI	(P. 133)
PETUNJUK PEMAKAIAN ALAT LATIHAN SEMI PENGHANTAR ITF-05	(P. 45)
TRAINING INSTRUCTION MANUAL SEMICONDUCTOR TRAINING EQUIPMENT ITF-05	(P. 45)
PETUNJUK PEMAKAIAN ALAT LATIHAN RANGKAIAN LOGIK ITF-02	(P. 80)
TRAINING INSTRUCTION MANUAL LOGIC CIRCUIT ITF-02	(P. 80)
PETUNJUK PEMAKAIAN ALAT LATIHAN OSCILLOSCOPE ITF-04	(P. 113)
TRAINING INSTRUCTION MANUAL OSCILLOSCOPE ITF-04	(P. 113)
ELECTRICAL COMPONENTS	
BASIC OF SEMICONDUCTOR MATERIALS AND DEVICES	
PIRANTI ELEKTRONIKA 1	
PIRANTI ELEKTRONIKA 2	
PIRANTI ELEKTRONIKA 3	
ELECTRNIC CIRCUITS 1	
ELECTRNIC CIRCUITS 2	
ELECTRNIC DIGITAL 1	
ELECTRNIC DIGITAL 2	

PRAKTIKUM ELEKTRONIKA DIGITAL	
MICROPROCESSOR & INTERFACE QUESTION & PROLEM	
MICROPROCESSOR & INTERFACE 1	
PRAKTIKUM MICROPROCESSOR & INTERFACE 1	
MICROPROCESSOR & INTERFACE 2	
PRAKTIKUM MICROPROCESSOR & INTERFACE 2	
COMPUTER AIDED PROBLEM AND SOLVING	
PENGUKURAN GELOMBANG RADIO & INSTRUMENTASI	
PRAKT. PENGUKURAN GELOMBANG RADIO & INSTRUMENTASI	
PRAKT. TEKNIK ANTENA	
TEKNIK ANTENA TRANSMISI GEL. RADIO & MICROWAVE	
KOMUNIKASI TERAPAN 1	
PRAKT. KOMUNIKASI TERAPAN	
RANGK. SISTEM KOMUNIKASI 1	
RANGK. SISTEM KOMUNIKASI 2	
RANGK. SISTEM KOMUNIKASI 3	
4. MMTc INSTRUCTORS	
THE PROCEDURE OF PROGRAM PRODUCTION	(Darwanto)
HOW TO SHOOT OUTDOOR SHOOTING	✓
THE METHOD OF EDITING BY OFF LINE SYSTEM	✓
AN INVITATION TO NHK SCHOOL BROADCASTING	✓

BELAJAR DARI BOROBUDUR	(Darwanto)
AIR SEHAT BAGI KELUARGA	/"
TAMBAK PENYANGGA KELUARGA	/"
PELUANG YANG MENANTANG	/"
REVIEW OF TENSES	(UTJUK RAHARDJO)
ACTIVE AND PASSIVE VOICES	/"
DIRECT AND INDIRECT SPEECH	/"
CONDITIONAL SENTENCES	/"
UNDERSTANDING APPLIED MATERIALS	/"
CONVERSATION	/"
TRANSLATION ENGLISH->INDONESIAN & INDONESIAN->ENGLISH	/"
WRITING	/"
TO KNOW RADIO AS COMMUNICATION MEDIUM	/"
ADVANTAGES AND DISADVANTAGES OF RADIO	/"
THE CHARACTERISTICS OF RADIO AUDIENCE	/"
FEED-BACK MECHANISM	/"
PROGRAM PRODUCTION ACTIVITIES	/"
PROGRAM PRODUCTION PROCEDURES	/"
PROGRAM EVALUATION	/"
THE METHOD OF EDITING BY OFF LINE SYSTEM	/"

BASIC ELECTRONIC	(Joko Yudianto)
PRINSIP-PRINSIP ELEKTRONIK	∕
TEKNIK TRANSMISI	∕
FREKUENSI TINGGI	∕
RADIO COMMUNICATION ENGINEERING	∕
COMMUNICATION ENGINEERING	∕
DASAR-DASAR. TEKNIK TRANSMISI	∕
INSTRUCTION MANUAL FOR IWATSU TRAINING KIT & PHILLIPS TRAINING KIT	∕
PRACTICAL TRAINING TELEVISION VISUAL TRANSMITTER	∕
TELEVISION AURAL TRANSMITTER	∕
EFFECTIVE TV PRODUCTION	(Istyohartono)
TV LIGHTING METHOD	∕
LIGHTING FOR TELEVISION	∕
BASIC RULE OF LIGHTING	∕
<u>VIDEO TAPE</u>	
NHK & MMTc PRODUCTION (LIGHTING STUDIO)	∕
BBC (1966) TV LIGHTING (BLACK & WHITE TELEVISION)	∕
BASIC LIGHTING FOR FILM AND VIDEO (SSVC)	∕

Teaching Material Text

No.11

TELEVISION NEWS EDITING (D2)	(Maurice Simatupang)
DEVELOPMENT COMMUNICATION (D2)	
PSYKOLOGY OF COMMUNICATION (D2)	
SOCIAL COMMUNICATION (D2)	
MASS COMMUNICATION (D2)	
COMMUNICATION SCIENCE (D1)	
SCRIPT WRITING (D1)	
AUDIENCE RESEARCH	(Rahmad Sutejo)
RESEARCH METODOLOGY (INTRODUCTION)	
GUIDANCE TO WRITE PAPER	
INTRODUCTION OF PROGRAM PRODUCTION	(Bambang Witomo)
THE TECHNIQUK OF THE TELEVISION CAMERAMAN	
EFFECTIVE TELEVISION PRODUCTION	
TELEVISION PRODUCTION	
TELEVISION PRODUCTION HAND BOOK	

THE BASIC OF COMMUNICATION SCIENCE (D1)	(Tonny Suprpto, Msc)
THE BASIC OF PUBLIZISTIK (D1)	
COMMUNICATION SCIENCE (D1)	
MASS COMMUNICATION AN INTRODUCTION (D1)	
MASS COMMUNICATION AND HUMAN INTERACTION (D1)	
COMMUNICATE! (D1)	
THEORY OF MASS COMMUNICATION (D1)	
COMMUNICATION AND DEVELOPMENT, CRITICAL PERSPECTIVES (D2)	
COMMUNICATION DEVELOPMENT (D2)	
COMMUNICATION AND DEVELOPMENT (D2)	
COMMUNICATION AND CHANGE (D2)	
PSYCHOLOGY OF COMMUNICATION (D2)	
THE MODELS OF COMMUNICATION (D2)	
PROCESS AND EFFECTS OF MASS COMMUNICATION (D2)	
SOCIAL PSYCHOLOGY (D2)	
MASS COMMUNICATION THEORY (D2)	
THE DYNAMICS OF MASS COMMUNICATION (D2)	
TELEVISION AND ITS AUDIENCE (D2)	
MASS COMMUNICATION THEORY AND RESEARCH (D2)	

VIDEO MATERIAL

No. 1

1991.11. 1

VIDEO Material			
1. BIOLOGY-ZOOLOGY	β can / NTSC	60 min	
2. BIOLOGY-BOTANY	β can / NTSC	60 min	
3. PHYSICS-DYNAMICS	β can / NTSC	30 min	
4. PHYSICS-WAVEMOTION	β can / NTSC	60 min	
5. PHYSICS-LIGHT	β can / NTSC	60 min	
6. PHYSICS-MAGNET	β can / NTSC	60 min	
7. PHYSICS-ELECTRICITY 8-11	β can / NTSC	60 min	
8. PHYSICS-ELECTRICITY 12-13	β can / NTSC	60 min	
9. LOOK AND LEARN	β can / NTSC	90 min	
10. MATHEMATICS 1, 2	β can / NTSC	90 min	
11. MATHEMATICS 3	β can / NTSC	90 min	
12. PUPPET SHOW 1-5	β can / NTSC	60 min	
13. PUPPET SHOW 6-10	β can / NTSC	90 min	
14. PUPPET SHOW 4-16	β can / NTSC	60 min	
15. MARIONET SHOW KUROHIME	β can / NTSC	60 min	
16. ANIMATED PUPPET FILM 1-4	β can / NTSC	60 min	
17. ANIMATED PUPPET FILM 5-8	β can / NTSC	90 min	
18. ANIMATED PUPPET FILM 13-18	β can / NTSC	90 min	
19. ANIMATED PUPPET FILM 19-24	β can / NTSC	90 min	
20. WORLD MUSIC ALBUM (1)	β can / NTSC	60 min	
21. WORLD MUSIC ALBUM (2)	β can / NTSC	60 min	
22. NATURAL HISTORY FIS	β can / NTSC	30 min	
23. NATURE IN ASIA (1)	β can / NTSC	30 min	
24. NATURE IN ASIA (3)	β can / NTSC	30 min	
25. NATURE IN ASIA (4)	β can / NTSC	60 min	
26. ZEN TEMPLE	β can / NTSC	60 min	
27. SWING HIGH LANTERNS	β can / NTSC	30 min	
28. BIRTH OF SILK	β can / NTSC	60 min	
29. RICE GROWING IN JAPAN	β can / NTSC	60 min	
30. JAPANESE WEDDING	β can / NTSC	30 min	
31. THE KIMONO	β can / NTSC	30 min	
32. SOUTH PACIFIC	VHS / NTSC	158 min	
33. WEST SIDE STORY	VHS / NTSC	152 min	
34. STAR·WARS 1	VHS / NTSC	125 min	
35. STAR·WARS 2	VHS / NTSC	132 min	

VIDEO MATERIAL

No. 2

1991.11.1

VIDEO Material			
36. THE SOUND OF MUSIC 1	VHS / NTSC	181 min	
37. THE SOUND OF MUSIC 2	VHS / NTSC	181 min	
38. MY FAIR LADY 1	VHS / NTSC	171 min	
39. MY FAIR LADY 2	VHS / NTSC	171 min	
40. ROMAN HOLIDAY	VHS / NTSC	118 min	
41. QUATORZE JUILLET	VHS / NTSC	90 min	
42. NET WORK	VHS / NTSC	118 min	
43. LES ENFANTS PARADIS 1	VHS / NTSC	190 min	
44. LES ENFANTS PARADIS 2	VHS / NTSC	190 min	
45. THE APARTMENT	VHS / NTSC	121 min	
46. TOKYO MONOGATARI	VHS / NTSC	135 min	
47. HIGANBANA	VHS / NTSC	118 min	
48. TRANSISTORS VS. VACUUM TUBES	VHS / PAL	30 min	
49. TRANSISTORS & TEMPERATURE	VHS / PAL	41 min	
50. CURRENT DRIVE VS. VOLTAGE DRIVE	VHS / PAL	41 min	
51. ANSWERS BY INSPECTION (PART1)	VHS / PAL	43 min	
52. ANSWERS BY INSPECTION (PART2)	VHS / PAL	40 min	
53. ANSWERS BY INSPECTION (PART2)	VHS / PAL	37 min	
54. MULTIISTAGE AMPLIFIERS	VHS / PAL	44 min	
55. TROUBLE SHOOTING TIPS	VHS / PAL	43 min	
56. FEEDBACK AMPLIFIERS	VHS / PAL	27 min	
57. WHY A TRANSISTOR AMPLIFIES	VHS / PAL	27 min	
58. TROUBLE SHOOTING TIPS	VHS / PAL	33 min	
59. FET'S AND UNIUNCTION TRANSISTORS	VHS / PAL	34 min	
60. BREAKDOWN DIODES	VHS / PAL	37 min	
61. PIN, STEP RECOVERY AND HOT CARRIER DIODES	VHS / PAL	28 min	
62. SCR'S AND TUNNEL DIODES	VHS / PAL	28 min	
63. TROUBLE SHOOTING DIGITAL IC'S	VHS / PAL	27 min	
64. SIMPPLE TROUBLE SHOOTING TECHNIQUES	VHS / PAL	18 min	
65. MODERN DIGITAL IC FAMILIES	VHS / PAL	27 min	
66. BINARY NATURE OF DIGITAL CIRCUITS	VHS / PAL	18 min	
67. INTRODUCTION TO DIGITAL ELECTRONICS	VHS / PAL	12 min	
68. BASICS OF TRANSISTORS AND IC'S 3-14	VHS / PAL	18 min	
69. COUNTERS AND SHIFT REGISTERS 10-14	VHS / PAL	30 min	
70. FLIP-FLOPS 9-14	VHS / PAL	31 min	

VIDEO MATERIAL

No. 3

1991.11. 1

VIDEO Material			
71. BVU-800 PERIODIC MAINTENANCE	VHS / PAL		
72. MARI BELAJAR MENGOPEASIKAN BVU-800	VHS / PAL		
73. LIGHT AND SHADOW	VHS / PAL		
74. PROCEDURE OF TV PROGRAMME PRODUCTION (ENG Ver)	VHS / PAL	30 min	
75. PROCEDURE OF TV PROGRAMME PRODUCTION (IND Ver)	VHS / PAL	30 min	
76. HOW TO SHOOT OUTDOOR	VHS / PAL	45 min	
77. HOW TO EDIT	VHS / PAL	45 min	
78. THE METHOD OF SCRIPT WRITING	VHS / PAL	45 min	
79. LOGIC GATES AND SYMBOLS	VHS / PAL	25 min	
80. INTRODUCTION TO DIGITAL IC FAMILIES	VHS / PAL	29 min	
81. IC MANUFACTURING	VHS / PAL	11 min	
82. MEMORIES	VHS / PAL	25 min	
83. COMBINATIONAL LOGIC CIRCUITS	VHS / PAL	30 min	
84. DISPLAY TECHNOLOGIES	VHS / PAL	30 min	
85. SIMPLE ASSEMBLY PROGRAMMING	VHS / PAL	41 min	
86. PROCESSOR REGISTERS AND INSTRUCTION SET	VHS / PAL	53 min	
87. WHAT IS A MICRO PROCESSOR ?	VHS / PAL	17 min	
88. ANALOG VS. DIGITAL	VHS / PAL	40 min	
89. INTRODUCTION TO PROGRAMMING	VHS / PAL	19 min	
90. HUIJISAN NATU KARA SOSITE HUYU	VHS / NTSC	40 min	
91. HUIJISAN HUYU KARA HARU	VHS / NTSC	40 min	
92. NIPPONJIDOUSYASI	VHS / NTSC	60 min	
93. POLOLOKA AMAZON NO DAIGYAKURYU	VHS / NTSC	50 min	
94. OMOSIRO KANJI MINI JITEN (1)	VHS / NTSC	30 min	
95. OMOSIRO KANJI MINI JITEN (2)	VHS / NTSC	30 min	
96. BONSAI	VHS / NTSC	30 min	
97. NETTAI SIZEN NO KURASI	VHS / NTSC	30 min	
98. TOUNANAJIA NO INASAKU	VHS / NTSC	30 min	
99. SAIKOUHOU EBERESUTO	VHS / NTSC	30 min	
100. SEKAI NO SIZEN TO KURASI	VHS / NTSC	30 min	
101.			
102.			
103.			
104.			
105.			

③ カウンタナーパート育成状況評価表

訓練コース/研修、学科コース等名又は C/P名	訓練コース/研修、学科コース等の成果又は、C/P 訓練結果による目標到達度								評価・問題点・対応措置等		
	技術習得状況	教科指導能力	実技指導能力	教材作成能力	訓練計画作成能力	教材操作能力	機材管理能力	訓練評価能力	クラス運営能力	総合評価	問題点等・対応措置等
番組編成関係カウンタナーパート名											
Darwanto	B	A	B	A	A	B	B	A	A	A	教育番組ディレクター、スポンサー、TVRI 局の放送部長等、現場経験豊富。今期日本での研修受講。成果が期待される。
Sutedjo	B	A	B	A	A	B	B	A	B	B	幅広い学識を有し人物も温厚篤実。番組編成、放送管理については、中核となる実力者。現場経験やや不足。
*C/P以外の主な担当教官(参考)											
Siswadi	B	A	B	A	A	B	B	A	A	A	前職は地区情報省長官で、地方放送局長の経験もあり顔が広い。語学・音楽も含め多才。仕事が迅速。今期日本で研修。
Kartini	B	A	A	B	A	B	B	A	B	B	昨年に続き編成クラス担任。ラジオの分野では、第一級の實力を持ち指導力も優れている。
U. Rahardjo	B	B	A	B	B	B	B	A	B	B	若手のホープ。英語が堪能、現在アフナウサンサーとしてT.V. ニュースでも活躍。5～10月の間、シヤカマで職風研修中。

1990.10 月からの技術協力延長に伴い評価は、D2, 3 コースに対する訓練評価とする。
 評価基準 A: 調査時点で終了 (技術移転完了) C: R/D 終了時点で修得未完了
 B: R/D 終了時点で修得可 (引き継ぎ技術移転必要)
 (技術移転完了見込み)

* 上段2名は、1990年4月の見直しにより新たに確定したカウンタナーパートである。下段2名は、従来までのカウンタナーパートおよびそれに準ずる主な担当教官なので参考までに記載した。

訓練コース/研修、学科コース等名又は C/P名	訓練コース/研修、学科コース等の成果又は、C/P 訓練結果による目標到達度								評価・問題点・対応措置等		
報道関係カウンターパート名	技術習得状況	教科指導能力	実技指導能力	教材作成能力	訓練計画作成能力	機材操作能力	機材管理能力	訓練評価能力	クラス運営能力	総合評価	問題点等・対応措置等
M. Simatupang	B	A	A	A	A	B	B	A	A	A	経験、意見豊かで訓練所の中核の一人である。7月、日本での研修を終えて帰国、張り切っている。
BNO. Prayoga	B	A	A	B	B	A	B	A	A	A	円熟した指導者で人物温厚。地味ではあるが誠実な人柄で借望厚い。新しい器材に習熟するにはやや高齢が。
* C/P 以外の主な担当教官 (参考)											
Endang S. Sari	B	A	B	B	A	B	B	A	B	B	教養豊かな若手の女性理論家である。ラジオ局の報道部からの転属。日本語の習得に熱心。日本留学を切望。
T. Suprpto	B	A	B	A	A	B	B	A	B	B	これまでラジオ局、情報省地方勤務の経験あり。昨年採用者の研修責任者。若手のホープとして期待大。

1990.10～1992.10の延長に当たり、訓練評価は、D2, 3に対する評価とする。
 評価基準 A: 調査時点で終了 (技術移転完了) B: R/D 終了時点で修得可 (技術移転完了見込み) C: R/D 終了時点で修得未完了 (引き続き技術移転必要)

* 上段2名は、1990年4月の見直しにより新たに確定したカウンターパートである。下段2名は、従来までのカウンターパートなので参考までに記載した。

訓練コース・研修、学科コース等またはカクハート名	訓練コース/研修、学科コース等の成果または、カクハート訓練結果による目標到達度								評価	問題点・対応措置等
評価分野 番組制作関係 カウタンパートナー名	技術修得状況	教科指導能力	教技指導能力	教材作成能力	訓練計画作成能力	機材操作能力	機材管理能力	訓練評価能力	クラス運営能力	総合評価
バンバン・ウイナルン Bangbang・Winurso	A	A	A	A	A	B	B	A	A	経歴からも、能力からも、今MMTCで番組制作指導が十分に行えるインストラクターはこの人をおいて他にはいない。86年に日本に研修に行き、88年と90年の2度西ドイツに研修に行っている。現在はMMTCの教務課長をしながら、ジャカルタでの国内研修で更に腕を磨いている。指導力も秀でておりインストラクターの中心的人物である。但し92年1月あたりからアメリカ留学が予定されている。帰国後はDIIの指導者として実力を発揮することを期待する。
ハルメン・ハリー Harment・Harry	B	A	B	B	A	A	B	B	B	放送現場の経験はあるが、これは主としてアート・デザインナーとしてのもので、番組制作に関してはまだ十分とはいえない。この春の新学年からDIIの指導もしているが、歴史的に優れており、向上心が強いので今後が期待できる。日本での2度の研修に続いて今回ドイツで番組制作研修のためのカリキュラム開発について2度の研修を受けているので、これも足がかりとしてDIIの指導者としての能力を益々高めるよう期待し指導を続けたい。

1990.10 - 1992.10の延長に当たり、訓練評価は、DII、DIIIに対する評価とする。
評価基準 A: 調査時点で終了(技術移転完了) B: R/D終了時点で終了可(技術移転完了見込み) C: R/D終了時点で修得未完了(引き継ぎ技術移転必要)

氏名	年齢	配置年月	学歴	職位	技術習得状況	教科指導能力	実技指導能力	教材作成能力	訓練計画作成能力	機材操作能力	機材管理能力	訓練評価能力	クラス運営能力	総合評価	総合所見等
Drs. M. KOSASIH	50	84 / 6	国立教育師範学校 電子工学卒	MNMC 副所長 (技術担当)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	送信技術の分野で幅広い知識・経験を有し、熟練の域にある。副所長職にあり、要指導の機会は少ない。従って、個々についての評価は省いた。
SUNARYO	39	86 / 5	三年制大学卒	技術副部長	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	制作技術の分野で中心的役割を果たしている。十分な知識・技量を有し、ハード面にも強い。理解力も素晴らしい。反応もスピーディである。
ISTIYO HARTONO	41	86 / 5	工業高校・ 師範学校卒	教官	B	A	A	B	B	B	B	A	A	A	カメラ・照明が専門で、実習でも熱心に指導しているが、照明の実技で少々不十分な面がある。
JOKO YUNianto	34	86 / 10	国立師範学校 電子工学中退	教官	B	A	B	B	B	B	A	A	A	B	幾は若いながら技術習得に非常に熱心で、「イ」語教科書作成(英文からの翻訳)にも意欲的である。送信技術の分野での、主体的教員として育っていくものと、確信する。
SYAHRIR KANDUNG	37	86 / 5	大学卒	教官	B	A	A	B	A	B	B	A	A	B	訓練コース全体の主任で、運営の中心的人物のひとり。広範囲の知識を有し、番組面の指導も行なっているが、実技面での更なる向上が望まれる。
LEMBAH SUSANTO	40	86 / 5	工業高校卒	教官	B	B	A	A	A	C	B	B	A	B	専門は音声技術であるが、それ以外の分野でも新しい知識・技術を習得しようとする意欲は十分である。
MOHAMMAD SARPIIH	45	86 / 10	高校卒	教官	C	C	B	C	C	C	B	C	C	C	やや基礎学力不足で、いまひとつやる気に欠けていたが、40日間の研修を受講して正規の教員に昇進、意欲も湧いてきた。実技中心の指導者として、力を付けさせたい。

< 評価基準 > D-II、D-III 各コース実施へ向けての、現時点での評価

A: 技術移転完了 B: 技術移転ほぼ完了(プロジェクト終了時には技術移転完了見込) C: 引き続き、技術が移転必要

④ インドネシア側のMMTC維持関係予算実績

Rowtire buogetの中のメンテナンス詳細

ROUTINE BUDGET 1986/87 — 1991/92

(MAINTENANCE EXPENSES ONLY)

MULTI MEDIA TRAINING CENTRE

IN YOGYAKARTA

(IM RUPIAH)

No.	ITEMS	FISCAL YEAR						TOTAL
		1986/1987	1987/1988	1988/1989	1989/1990	1990/1991	1991/1992	
1.	Maintenance for Building - Painting - Dormitory/Inst. Housing - Gardening	34,100,000-	27,900,000-	34,000,000-	44,600,000-	45,100,000-	57,000,000-	242,700,000-
2.	Maintenance for Vehicle - Car Facilities/Spareparts - Oil/Grease, etc - Service Car Facilities	3,000,000-	9,000,000-	12,000,000-	15,000,000-	7,000,000-	7,500,000-	73,500,000-
3.	Others - Air conditions - Studio Equipment - OB Van - Distribution facilities and equipment (water, etc) - Transmission Equipment	25,500,000-	21,750,000-	31,900,000-	51,400,000-	51,400,000-	61,400,000-	243,350,000-
	TOTAL	62,600,000-	58,650,000-	77,900,000-	111,000,000-	113,500,000-	135,900,000-	559,550,000-

(要求額)

⑤ 組織・要員数

MMTC職員数推移表

1991年11月現在

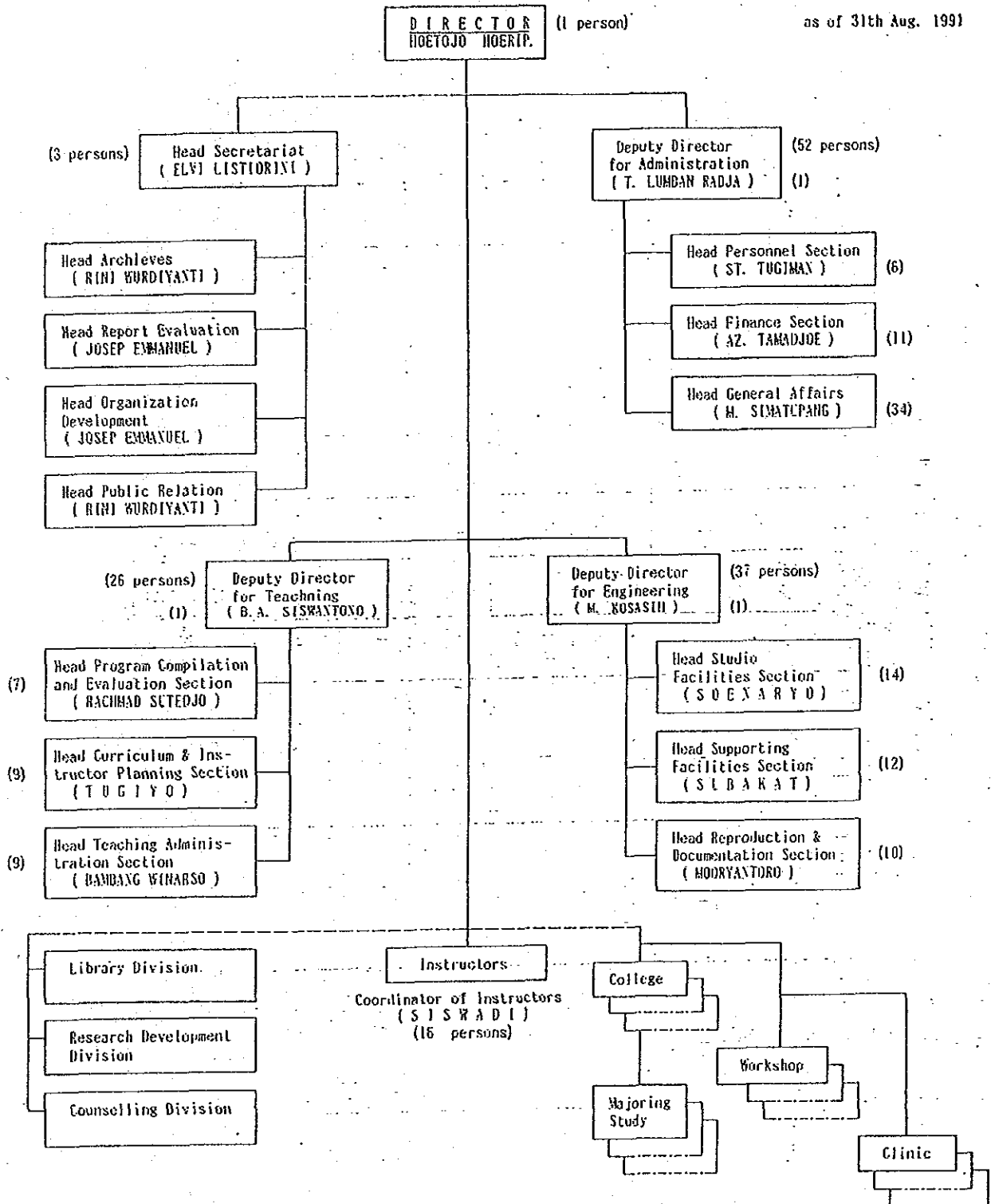
No	部署	1986年度			1987年度			1988年度			1989年度	1990年度	1991年度	1992年度
		正職員	見習	合計	正職員	見習	合計	正職員	見習	合計	正職員	正職員	正職員	
1	所長	1	--	1	1	--	1	1	--	1	1	1		
2	総務部	20	17	37	27	17	44	25	17	42	43	55		
3	教務部	8	3	11	8	3	11	10	4	14	19	26		
4	技術部	14	1	15	16	1	17	20	1	21	26	37		
5	専任教員	10	--	10	12	--	12	12	--	12	12	16		
合計		53	21	74	64	21	85	68	22	90	101	133	135	
専門家教数		7人		7人		7人		10/21計7人、10/22以降5人(2年延長に伴い2人減)		5人	5人	5人		

* 合計欄の()内数字は兼任教官数を示す。

MMTCの組織図と要員配置状況

1991年 8月31日現在

ORGANIZATION CHART OF
MULTI MEDIA TRAINING CENTRE YOGYAKARTA



Total : 135 persons

◎ MMT Cに対するインドシア側予算推移表

(単位：千R.P.)

1991年11月現在

年度	1985/86			1986/87			1987/88			1988/89			1989/90		
	開発	通常	小計	開発	通常	小計	開発	通常	小計	開発	通常	小計	開発	通常	小計
費目事項															
予算要求額 (A)	---	---	---	1,900,000	2,280,080	4,180,080	3,564,704	2,811,490	6,376,194	1,602,660	2,901,100	4,503,760	683,522	1,321,903	2,005,425
予算額 (B)	+239,495	---	239,495	180,860	454,500	635,460	191,588	421,100	612,688	240,000	628,500	868,500	436,500	756,700	1,193,200
				+ 34,679		+ 34,679	+ 75,372		+ 75,372				(+141,450)	(-141,450)	(-141,450)
				215,539		670,139	266,960		688,060				=577,950)	=615,250)	(1,193,200)
不足額 (C)	-239,495	---	-239,495	1,684,461	1,825,480	3,509,941	3,297,744	2,390,390	5,688,134	1,362,660	2,272,500	3,635,160	247,022	565,203	812,225
(A-B)													(-141,450)	(+141,450)	(812,225)
													=105,572)	=706,653)	(812,225)

年度	1990/91			1991/92			1992/93			備考		
	開発	通常	小計	開発	通常	小計	開発	通常	小計	合計		
費目事項												
予算要求額 (A)	602,738	1,218,555	1,821,293	642,517	999,600	1,642,117	(3,657,225)	(1,994,116)	(5,651,341)	20,528,969		
予算額 (B)	437,686	793,650	1,231,336	642,517	989,600	1,632,117				6,532,947		
	(+206,200)	(-208,200)		(+260,132)	(-260,132)							
	=645,886)	=585,450)	(1,237,326)	=902,649)	=739,468)	(1,642,117)						
不足額 (C)	165,052	425,005	590,057	0	0	0				13,996,022		
(A-B)	(-206,200)	(+208,200)	(590,057)	(-260,132)	(+260,132)	(-260,132)						
	=-43,146)	=633,205)		=-260,132)	=260,132)	(0)						

備考

- ・85/86, 86/87, 87/88年度の*印は、当初RRI 訓練所、TFR訓練 所等へ割り当てられた予算を最終的にMMTCの開発予算として振り 替えた額。
- ・89/90, 90/91, 91/92年度における予算額(B)及び不足額(C)の()内数字は、各々DII コーパス突進のため通常予算より開発予算へ振り替えた額。

⑦ 合同委員会 AGENDA

Japanese Mutual Consultation Team

1. PROGRESS OF THE PROJECT AFTER JULY 1990

1-1 Confirmation of objectives in the re-extended term (OCT.90~OCT.92)

1-2 Course implementation

1-2-1 Diploma I

1-2-2 Diploma II and Diploma III

1-2-3 Enrichment course

1-3 Other activities in MMTC

1-4 Technical cooperation

1-4-1 Completion of cooperation for DI

1-4-2 Improving the curricula and syllabi for DII, DIII

1-4-3 Producing teaching materials for DII, DIII

1-4-4 Transferring technology for DII, DIII

2. MATTERS TO BE SOLVED

2-1 Implementation of DII, DIII courses based on the schedule proposed by MMTC

2-2 Budget

2-3 Number of teaching staff

2-4 Maintenance and repair of equipment and facilities

2-5 Customs clearance of equipment donated from Japan

3. COOPERATION UNTILL END OF RE-EXTENSION TERM (20.OCT.1992)

3-1 Dispatch of experts

3-2 Acceptance of counterparts for training in Japan

3-3 Provision of equipment

3-4 Matters to be considered for end of cooperation

4. POST PROJECT

4-1 Completion of Project-type technical cooperation

4-2 Further development of MMTC

5. OTHERS

5-1 Joint Committee Meeting

6. MINUTES OF MEETING

合同委員会出席者リスト

PRESENCE LIST
OF
INDONESIA - JAPAN JOINT COMMITTEE MEETING PARTICIPANTS
ON TELEVISION AND RADIO TRAINING CENTRE FIELD
FRIDAY, DECEMBER 13TH, 1991

NO.	NAME	INSTITUTION	SIGN
1.	Hitoshi SIODA	Leader, Japanese Mutual Consultation Team	
2.	Hoetojo Hoerip	MMTC, Director	
3.	M. Arifin	Head of Bureau of Planning, Department of Information	
4.	Ikuya SAITO	Embassy of Japan	
5.	Shigeki UENO	Leader of JICA Expert Team to MMTC	
6.	I.A. Zakaria	Head of Personnel Bureau	
7.	Siti Moerdjilah	Personnel Educational and Training Centre	
8.	Omas Syarifudin	Directorate General of Budget Development	
9.	Atsushi FUSE	JICA Jakarta Office	
10.	Yon Hardoyono	Head of TVRI Training Centre	
11.	M. Sofjan	Radio Training Centre. Jakarta	
12.	Takao YAMAZAKI	JICA Expert to TVRI	
13.	Seigo YAMAUCHI	JICA Expert to the Department of Informa- tion	
14.	Yoshiharu MATSUDA	JICA Expert to TVRI	
15.	Naoki SAITO	JICA, Tokyo	
16.	Masami NAKAGAWA	NHK, Tokyo	
17.	Kazuyoshi SHINOYAMA	JICA, Tokyo	
18.	Osamu MUKAO	JICA Expert to MMTC	
19.	Hiroshi SUEMITSU	JICA Coordinator to MMTC	
20.	Kenichi IKARUGI	JICA Expert to MMTC	
21.	Toshihiko KOSAKI	JICA Expert to MMTC	
22.	M. Sofjan	Radio Training Centre	
23.	Multiyono	Directorate of Film and Video Recording Guidance	
24.	Syahrizal Efendi	Bureau of Adminis- tration	
25.	Akmam Amir		
26.	Supriyanto	MMTC	

⑧ 1991年以降のMMTCに対する日本側協力予定

	91' (平3)	92' (平4)	93' (平5)	94' (平6)	95' (平7)	96'
	2 4 6 8 10 12	2 4 6 8 10 12	2 4 6 8 10 12	2 4 6 8 10 12	2 4 6 8 10 12	2 4 6 8 10 12
プロジェクト協力期間						
プロジェクト専門家 派遣期間						
上野 (リーダー)						
向尾 (運用送信技術)						
小崎 (番組制作)						
鶴木 (制作技術)						
末満 (調整員)						
個別専門家 長期 (2名) 短期 (2名)	<p>番組制作 ← → 個別・長期</p> <p>制作技術 ← → ☆</p> <p>(個別・短期 個別・短期)</p> <p>短専でつなぐ可能性あり</p>					
スペアパーツ 供与事業	<p>平成5年度中</p>					
アフターケア事業	<p>(調査) 平成6年度中 (基礎) 平成7年度中</p> <p>← (研、短専、機材等)</p>					

⑨ 合同委員会に提出されたMMTC所長報告書

PROGRESS REPORT
OF
MULTI MEDIA TRAINING CENTRE
YOGYAKARTA, DECEMBER 1991

by
Director of MMTC

CONTENTS

Subject	Page
Preface	i
1. General Description	1
2. Education and Training Activities	3
3. Instructor and It's Role	10
4. Supporting Facilities	12
5. Administration System	14
6. Counterpart Cooperation	18
7. Planning for the Fiscal Year 1992 - 1993 ...	20
8. Problems and its Solution	22
9. Conclusion	23

PREFACE

First of all let me express my sincere thanks for having the opportunity to present the Progress Report of the Multi Media Training Centre, in the fiscal year of 1991 - 1992.

In general after its 6 years of establishment, the Multi Media Training Centre in Yogyakarta has made a rapid progress. The rapid progress covers both the training activities and the supplying of the hardware facilities. The progress on the training activities consists of the Diploma program training and the conducting of Non Diploma programs of Short courses. Starting from this year the Multi Media Training Centre has conducted one more Study Program of the Diploma II : Broadcast Journalistics, which is participated by 12 trainees from TVRI and RRI. While the progress of Non Diploma Program this year, the Multi Media Training Centre has organized : Project Organization and Self Management for Television Drama Producer Course, in collaboration with the Television Training Centre of Sender Freies Berlin of Germany, as well as courses on Microwave and Measurement Technics for Broadcasting; and Programmes Management & Documentary Programmes in collaboration with JICA-NHK Japan. For this fiscal year MMTC in cooperation with JICA-NHK have also planned to handle Short Courses on Popular Music Programme Production and Studio Art Design.

Meanwhile the progress on hardware facilities gained by Multi Media Training Centre in this year among others are the constructing of the Studio II for Radio and for Television, the Electrical and Electronic Laboratory, the Language Laboratory as well as other facilities with its equipments to support the progress on the training activities, particularly for the conducting of Diploma III program to be opened next year (Fiscal Year of 1992 - 1993) in accordance with the Expansion of the Multi Media Training Centre Plan.

Yogyakarta, 9 Desember 1991

Hoetojo Hoerip

Director of MMTC

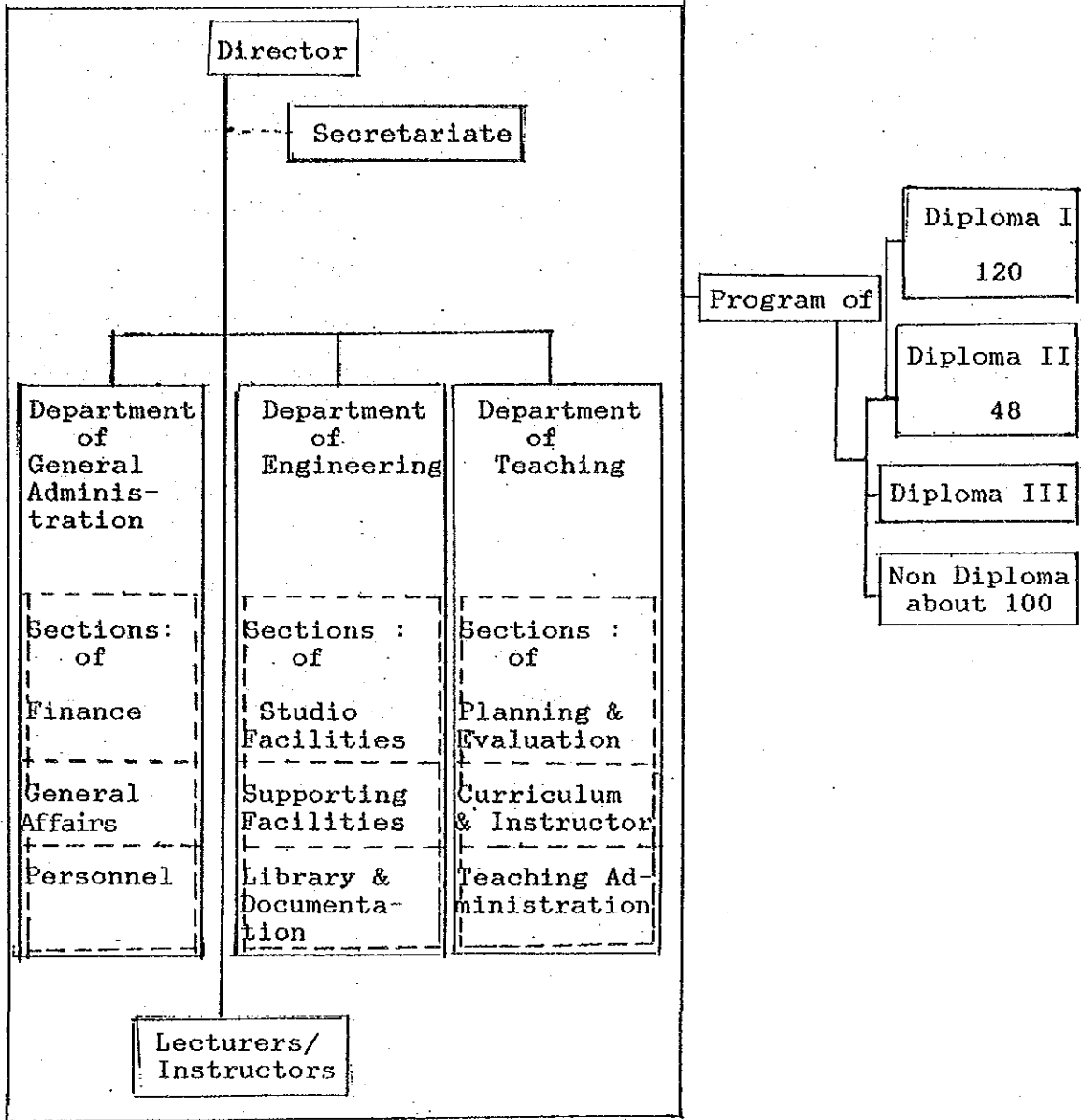
1. GENERAL DESCRIPTION

Since its establishment, MMTC has the responsibility to educate and to train the employees of RRI and TVRI, such as studio and transmitter technicians; program producers; reporters; as well as broadcasting planners. Up to the Fiscal Year of 1990 - 1991, MMTC has educated and trained about 492 students for Diploma I program; 72 students for Diploma II program; and 806 trainees for Non Diploma programs. And in this Academic Year (1991 - 1992), MMTC is educating and training some 120 students for Diploma I program; 48 students for Diploma II program; and about a hundred trainees for Non Diploma Program.

In carrying out the education and training activities, MMTC is supported by some 135 employees, among them only 16 employees who already have the license as instructor or lecturer. To anticipate the lack of instructors MMTC has recruited the structural officials (the head of departments and head of Sections of MMTC) as well as guest instructor from another institutions such as Gadjah Mada University; Indonesian Institute of Arts; TVRI; RRI; and from the Institute of Teaching and Educational Science in Yogyakarta. At present MMTC has 60 lecturers to train and educate 120 students for Diploma I program and 48 students for Diploma II program. Meanwhile for the operation and maintenance of the equipments and other facilities, MMTC has some 37 employees; for serving the learning and teaching activities about 26 employees; and for serving the general

administration some 55 employees. The following chart will describe the organisation hierarchy of MMTC

Chart 1 : The Organisation Hierarchy of MMTC.

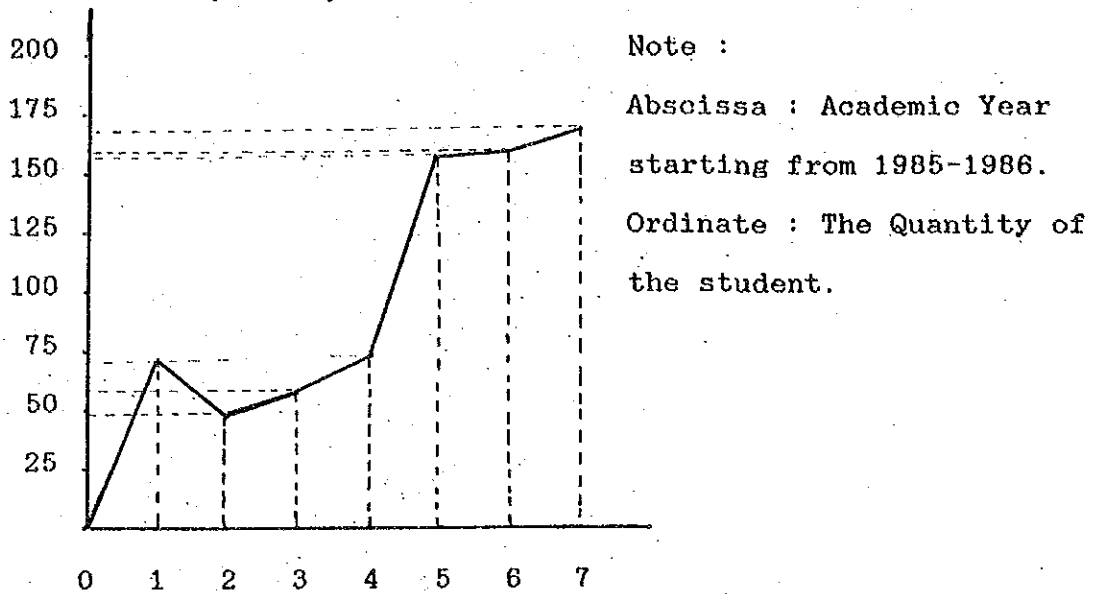


2. EDUCATION AND TRAINING ACTIVITIES

Generally education and training activities of Multi Media Training Centre are grouped into two programs namely Diploma Program and Non Diploma Program. The Diploma Program consists of Diploma I and Diploma II. Diploma I covers 5 Study Programs and 4 Study Programs for Diploma II. The 5 Study Programs of Diploma I are Programs Compilation and Planning; Program Lines Production; News and Current Affairs; Studio and Master Control Technics; and Transmission Technics. Diploma II covers Study Programs of Broadcast Journalism; Script and Story Writing; Program Package Production; and Studio Production Technics. Each Study Program of Diploma I has 24 students and 12 students for each Study Program of Diploma II. Therefore at this year, MMTC has a total of 168 students of Diploma program, and this means that MMTC has reached the progress on the quantity of the students compare with the years before. The following chart will show the quantity of the MMTC's students clearly since the first year up to the present :

No.	Year	Number of Students
1	1985-1986	72
2	1986-1987	49
3	1987-1988	60
4	1988-1989	72
5	1989-1990	155
6	1990-1991	156
7	1991-1992	168
	TOTAL	732

Chart 2 : The Quantity of the MMTC's students



From the described chart, we know that MMTC had educated and trained 564 students, and in this fiscal year (1991 - 1992) MMTC has educated and trained 168 students. 120 students are participants of Diploma I and the 48 students are participants of Diploma II. To make clearer, the above chart can be explained separately into each Study Program as follows :

Chart 3 : Programs Compilation and Planning :

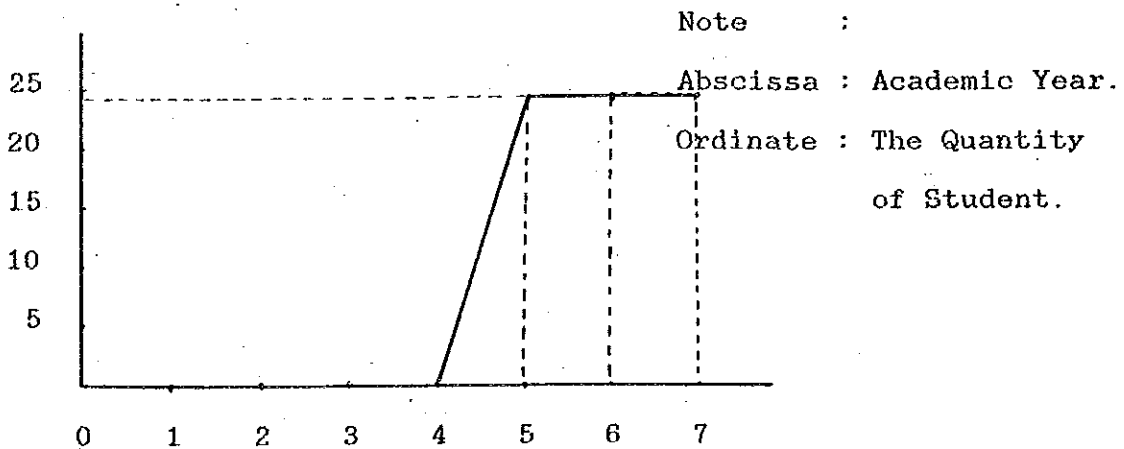


Chart 4 : Program Lines Production

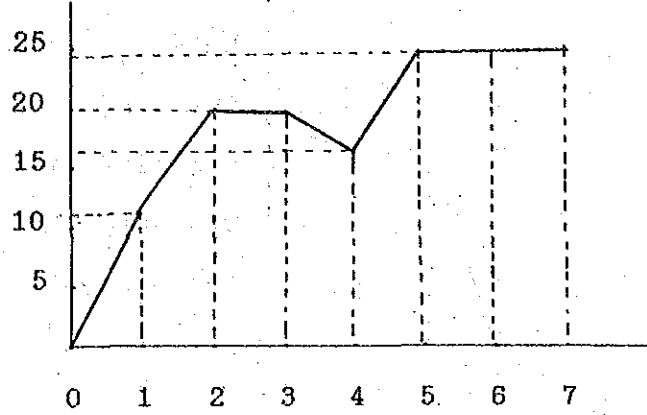


Chart 5 : News and Current Affairs

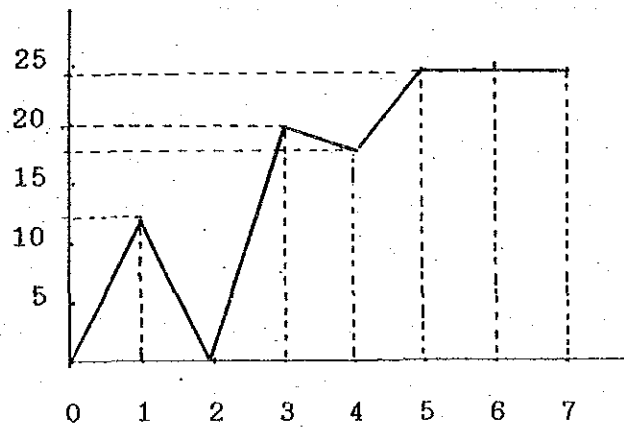


Chart 6 : Studio and Master Control Technics

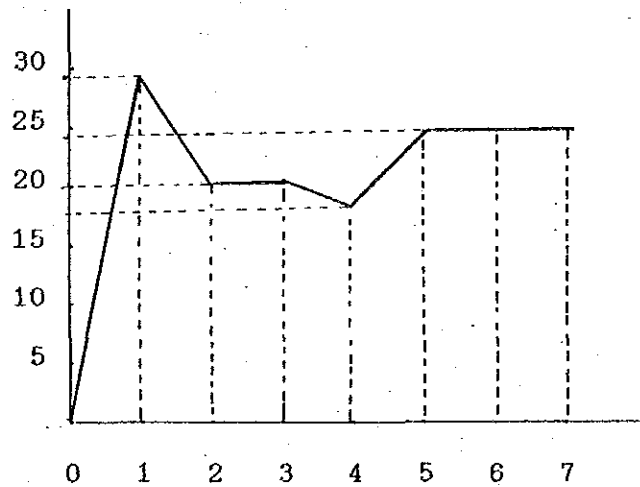


Chart 7 : Transmission Technics

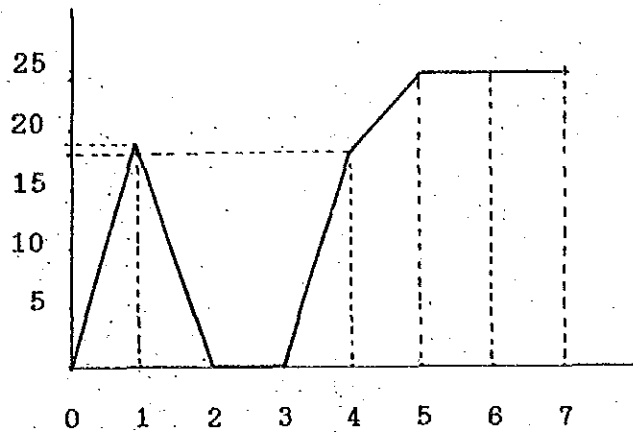


Chart 8 : Broadcast Journalism

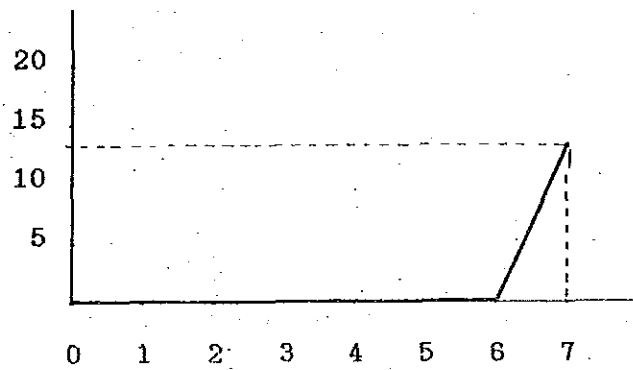


Chart 9 : Script and Story Writing

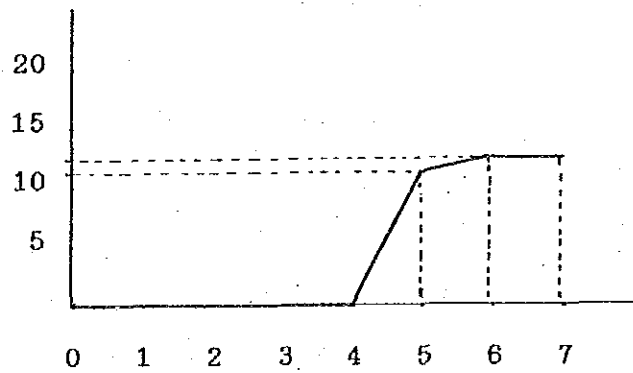


Chart 10 : Program Package Production .

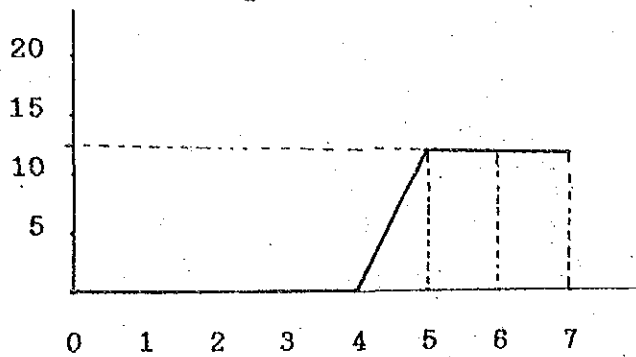
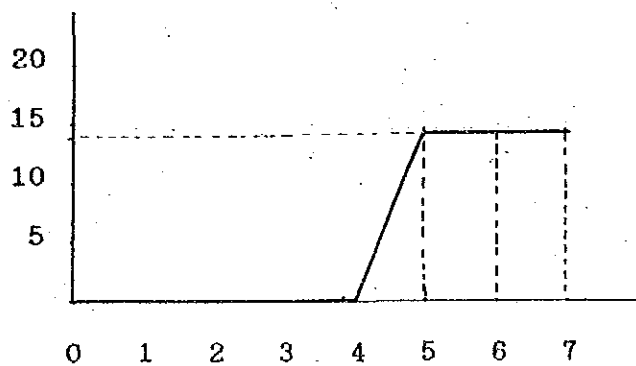
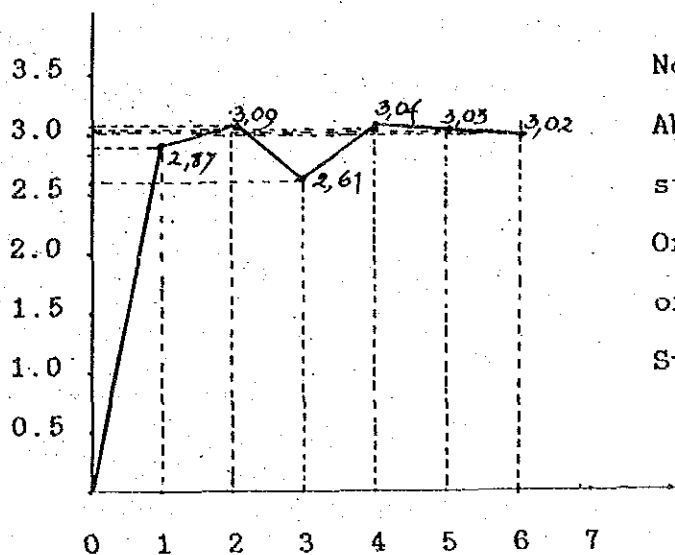


Chart 11 : Studio Production Technics .



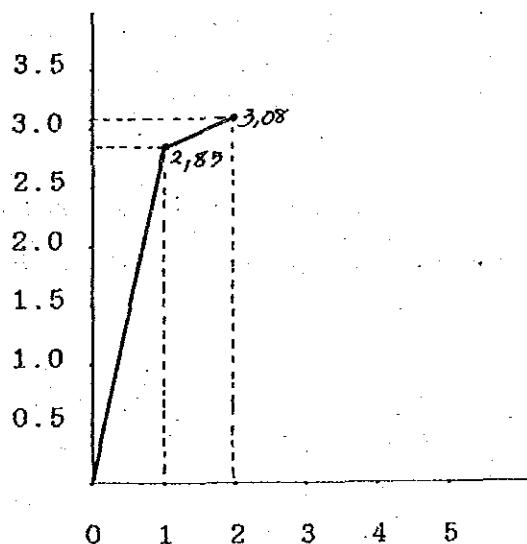
Qualitatively, the progress of the executing of Diploma programs can be seen from the increasing of the grade point average (GPA) gained by the students yearly. This chart can be accepted because there are three variables to determine the quality of education and training conducted by the institution : the quality of the student (trainee) the quality of the instructor (trainer); and the quality of the learning and teaching system. Considering that "the quality of the trainee" is constant, the trainee's GPA must be increased because of the increased quality of the instructor , and the longer period in conducting training should be the better system. The following chart will show the progress of the executing of the Diploma program qualitatively :

Chart 12 : The Annual Mean of the GPA of the Diploma I Students .



Note :
 Abscissa : Academic Year
 starting from 1985-1986.
 Ordinate : The Annual Mean
 of the GPA of the Diploma I
 Students.

Chart 13 : The Annual Mean of the GPA of the Diploma II Students :



Meanwhile the Non Diploma program which is also called as "Short Course program" is intended to improve the skill and knowledge as well to broaden the horizons of the participants which consists of RRI; TVRI; and MMTC senior staffs has always been conducted by

MMTC annually. At least 4 kinds of Short Courses conducted by MMTC in collaboration with foreign Education and Training institutions every year. For this 1991-1992 fiscal year, MMTC has organized 3 Short Courses and has planned to hold another one short Course.

The three Short Courses which had been conducted are :

1. Course on Project Organization and Self Management for TV Drama Producer had been held jointly with TTC-SFB German from May 20, 1991 to June 14, 1991. This Course had been participated by 15 television drama producers from TVRI through out Indonesia.
2. Course on Microwave and Measurement Technics in Broadcasting had been organised jointly with JICA-NHK Japan from September 9, 1991 to September 20, 1991. This Course had been participated by 30 engineers from TVRI and RRI through out Indonesia.
3. Programme & Management and Documentary Programmes organized jointly with JICA-NHK from November 4 to November 23, 1991. This course had been participated by 30 producers and planners from RRI; TVRI; and MMTC .

While the other one Course to be conducted jointly with JICA-NHK is "Popular Music Programme and Studio Art Design". This course which will be held next March 16 to April 3, 1992, is intended for the RRI and TVRI's Popular Music Producers and Art Designers.

3. INSTRUCTOR AND IT'S ROLE

One of the important variables determining the quality of the output of an educational and training institute such as MMTC is the "Instructor". The instructor variable consists of the quantity of instructor and the quality of instructor. MMTC has 39 instructors for Diploma I program, which means that the ratio between the trainer and the trainee is almost 1 : 3 or one instructor for 3 trainees. Quantitatively this figure is quite enough because there is no difficulty for an instructor to teach and guide 3 students. As for the Diploma II program which consists of 4 Study Programs and has only 48 students, a number of 20 instructors is needed which is already available, so the ratio between the student and the instructor is less than 1 : 3. At the other hand, the number of instructors for Non Diploma program (Short Courses) needed, depends on the course itself. Usually one instructor for one class which consists of 24 participants. It can also be compared with the quantity of subject given to each program. The ratio between the quantity of instructor and the quantity of subject for Diploma II program is about 1 : 3 ; for Diploma I is about 1 : 3 ; and for Short Course is about 1 : 1. The figure of Diploma program is regarded not enough because 3 subjects handled by only one instructor, while the figure for Short Course is proportional, one subject is handled by one instructor. The second variable is the quality of instructor. About 75 % of the instructors are University graduates and almost a hundred

percent of the instructor are well experienced. In order to increase the quality of instructor, MMTC in cooperation with JICA-NHK have sent annually at least 5 instructors to Japan since 1984. Apart from that, MMTC also sent some instructors to Germany and the AIBD (Asia Pacific Institute for Broadcasting Development) member countries to broaden their knowledge and experience. For this year MMTC has already sent 4 instructors to Japan; one instructor to Pakistan; and another one to Germany.

The role of Instructor in the learning and teaching process of the Multi Media Training Centre generally is involved into 3 main activities namely giving lecture and practical guidance; constructing the curriculum; and conducting research. The roles of giving lecture and practical guidance as well as constructing the curriculum has been done well. And the role of conducting research is being done effectively starting this year. Some researches dealing with the learning and teaching system are being conducted by MMTC's Instructors in order to increase the quality of the educational and training system.

4. SUPPORTING FACILITIES

In conducting the education and training programs for Diploma I and Diploma II, MMTC has facilities consisting of : Studio equipments facilities; OB-Vans (2 units for Television and one for Radio); transmission equipments facilities; Musical instruments; Library; Copy Machines; and transportation. MMTC has 2 Studios for practices of the students : one for Radio and the other one for Television. The Radio Studio is equipped with facilities for Radio Continuity Programs; and Radio Master Control. While the Television Studio is also equipped with facilities for Sub Control; Continuity Programs; Master Control; VTR; Telecine; Synchronization; Observation Room; Film Laboratory; and ENG Equipments. This mentioned equipments are well maintained and used effectively.

As the realization of the Exchange of Notes that has been signed between the Japanese Government and the Government of the Republic of Indonesia in Jakarta recently, the work of the Project for the Expansion of the Multi Media Training Centre in order to support the realization of Diploma III program to be conducted next year has started and is now in full operation. It is hoped that the completion of the New building and facilities will be finished in March 1992 and will be inaugurated on Graduation Day in March 1992 by the Minister of Information. The New building and facilities consist of :

1. Joint Lecture Room equipped with 200-inch video projector.

2. Programme Production Training Room equipped with VTRs for playback-use only, monitors, etc.
3. Language Laboratory and its equipments.
4. TV Studio equipped with ENG-type video camera, studio lighting, 1/2 inch VTR, etc.
5. Radio Studio equipped with Audio-mixer, tape-recorder, CD player, cassette-tape player, audio-dubbing system, etc.
6. Post-Production Room equipped with 1/2 inch VTR, editor, switcher, etc.
7. Video Editing Room and its equipments.
8. ENG Equipment Maintenance Room equipped by ENG Camera with built-in VTR, Battery charger, etc.
9. Electronics and Digital Training Room equipped with Boards/panels of various types of electronic circuit and digital circuit, measuring instruments, etc.
10. Radio Frequency Training Room equipped with VHF TV transmitter (1 kw), Antenna and receiver for receiving transmissions from the Palapa satellite, Microwave experiment set, and Spectrum analyzer.
11. Electric Power Training Room equipped with Diesel-engine-driven generator, Power-distribution console, transformer, AC/DC motors, etc.
12. Videotape Storeroom completed with Lockers and shelves.

5. ADMINISTRATION SYSTEM

The Administration Department of MMTC consists of Personnel Section, Finance Section, and General Affairs Section. The Personnel Section has the responsibility to manage the employees problems. Because of the increasing activities and in order to improve the quality of MMTC, the quantity of the employees has been increased this year. Compared with 1989 - 1990 fiscal year, the quantity of the MMTC's employees has increased some 27%, from 107 persons to 136 persons. While the progress on the quality of the employees can be gained through short courses both in foreign countries and domestic. During this year MMTC has sent 5 instructors to foreign countries, 3 instructors to Japan for study Television Broadcasting Management and Television Programme Production; one instructor to Pakistan to join Audience Research Methodology Course; and one instructor to Germany to participate Course on Curriculum Development for Programme Production Training. At present MMTC is preparing some instructors to be sent to Japan; Malaysia; and United States of America, while another 2 instructors had been sent to Jakarta to join Monitoring Planning Course and Training of the Trainer Course; and another 2 staffs have been trained on Finance and Library in Yogyakarta.

The Finance Section has the responsibility to manage the budget, both for Routine budget and Project budget. The Routine budget of this year (1991-1992) covers : Rp.999,600,000 (nine hundred ninety nine million and six hundred thousand rupiahs) consists of

budgets for employees expenses; goods expenses; maintenance expenses; and transportation expenses. Routine budget of this year is the biggest among the prior budgets. While the Project budget which is also the biggest compared with the years before, covers : Rp. 642.517.000,- (Six hundred forty two million and five hundred seventeen thousand rupiahs). The following chart will show the fluctuation of the budget from 1986 to 1991 :

Chart 14 : ROUTINE BUDGET.

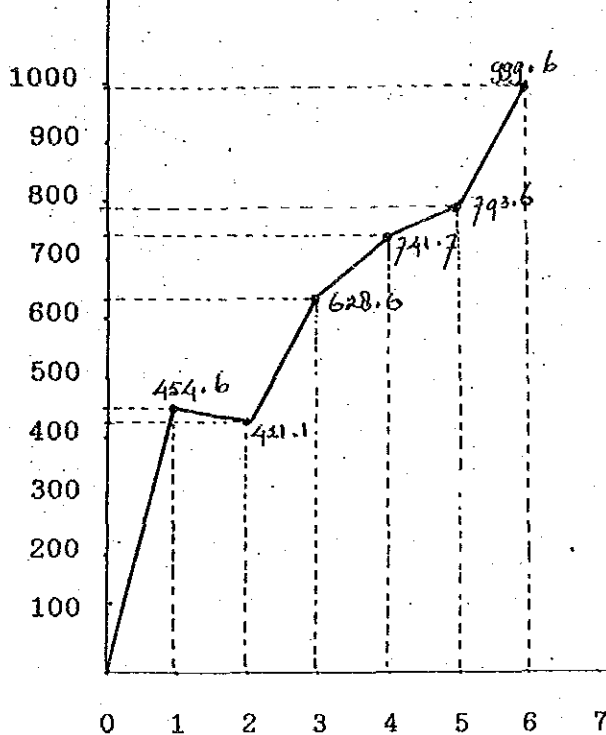
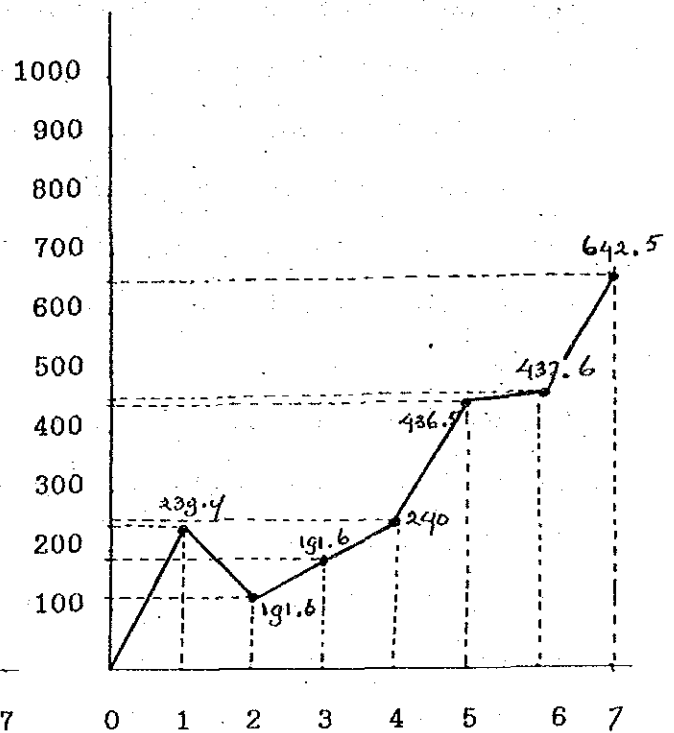


Chart 15 : PROJECT BUDGET.



Note :

Abscissa : Fiscal Year starting from 1985-1986.

Ordinate : Budget in Million Rupiahs.

The General Affairs Section has the responsibility to manage the facilities of classroom; transportation; as well the dormitory

for the students and the housing complex for the instructors. The MMTC has at present 12 classrooms for 9 Study Programs (5 Study Programs of Diploma I and 4 Study Programs of Diploma II), with 168 students. This figure shows a balance ratio between the sum of students and the classrooms. But for the realization of the future planning, such as the execution of Diploma III program, more classrooms are needed according to the sum of the increasement of the Study Programs to be conducted. To accomodate the students, the MMTC has 2 dormitories consisting of Block I which has 65 rooms (130 beds) and Block II has 66 rooms (132 beds). This figure shows that the facility of rooms for the students is more than enough. But the housing for the instructors is not enough anymore. There are only 10 houses for 16 instructors and some structural officials who also need accomodation. MMTC has 11 operational transports consisting of 2 OB Vans for Television; 1 OB Van for Radio; 3 Jeeps; 3 Mini buses (each for 12 persons); 1 Coaster Mini bus (for 26 persons); and 1 Pick up. This transportation facility is able to support both the practical activities of the students and the administrative activities of the MMTC. But the need of transportation will also increase in accordance with the increasing of the education and training activities, especially to support the practical activities of the students. It has been estimated that for the executing of all the planned Diploma programs (5 Study Programs for Diploma I; 8 Study Programs for Diploma II; and 11 Study Programs for Diploma III), more facilities and transportation

will be needed :

- 1 OB Van for Television
- 1 OB Van for Radio
- 1 Bus for 40 persons, and
- 2 Mini bus, each for 12 persons.

6. COUNTERPART COOPERATION

The Technical Cooperation between the Ministry of Information, of the Republic of Indonesia, the Multi Media Training Centre, and the Japanese Ministry of Posts and Telecommunications as well as Nippon Hoso Kyokai (NHK) has been going on smoothly since October 1983. The main objective of the Counterpart Cooperation is to transfer technology and knowledge on radio and television broadcasting which covers :

1. Education and training of MMTC's instructors
2. Cooperation in the construction of curriculum for radio and television training programs
3. Cooperation in the development of teaching materials for radio and television training programs.

Since the signing of the Technical Assistance, some 50 MMTC's instructors had been sent to Japan to learn in various fields of radio and television broadcasting. Annually at least 5 instructors are sent to Japan in order to improve their quality, and on the contrary about 6 short term experts have been sent from Japan annually to conduct short term courses in MMTC. Usually, 3 kind short courses have been conducted in each year. Beside the non-degree training, the Japanese counterpart has also tried to look for scholarship for Ph.D degree for the MMTC's instructors. While cooperation in the construction of the curriculum for radio and television training has also been executed, both curriculum for Diploma program and curriculum for short course program. In developing the teaching materials, some

teaching books (hand outs) have already been edited and some video cassettes have already been produced jointly.

7. PLANNING FOR NEXT YEAR

The short term planning of the MMTC's activities in the 1991 - 1992 fiscal year has been decided based on the long term planning; the existing budget; and the limited conditions. Planning for the Diploma and Non Diploma programs to be executed next year (1992-1993) are :

1. The 5 Study Programs of Diploma I : Programmes Compilation Planning; Program Lines Production; News and Current Affairs Reporting; Studio and Master Control Technique Operation; and Transmission Operation. Each Study Program will be participated by 24 students from TVRI and RRI.

2. Five Study Programs of Diploma II namely Programmes Broadcasting Planning; Program Package Production; Broadcasting Journalism; Studio Production Technique; and Transmission Technique. Each Study Program to be participated by 12 students.

3. Three Study Programs of Diploma III : Scenario and Storyboard Writings; Program Cultural and Entertainment Production; and Production Studio Engineering, respectively will have 8 students for each Study Program.

4. Short courses to be conducted in the fiscal year of 1992 - 1993 among others :

- a. Maintenance and Adjustment of Studio Equipment
- b. Maintenance and Adjustment of Transmitter Equipment
- c. Electronic Field Production (EFP) Techniques
- d. Educational Program Production on EFP.

The estimated budget for the Fiscal Year 1992-1993 that has been submitted to the Ministry of Finance covers : Rp.5.631.841.500,- (Five billion Six hundred thirty one million and Eight hundred forty one thousand and five hundred rupiahs) consisting of : Rp.3.657.725.000,- (Three billion Six hundred fifty seven million and Seven hundred twenty five thousand rupiahs) for Development Budget and Rp.1.974.116.500,- (One billion Nine hundred seventy for million and One hundred sixteen thousand five hundred rupiahs) for Routine Budget.

8. PROBLEMS AND ITS SOLUTION

Some problems might arise in executing the mentioned education and training programs among others the lack of qualified instructors and the lack of fund.

In order to anticipate the problem of lack of qualified instructors, MMTC tried to improve the quality of the instructors by sending them abroad to learn in their respective field. Apart from that, MMTC has also made cooperation with other institutions such as Gadjah Mada University; Indonesian Institute of Arts; Institute of Teaching and Education Science; TVRI and RRI, to invite them to be guest lecturers/instructors in MMTC, and also inviting JICA Expert Team to MMTC to be consultant instructors. To overcome the lack of fund, MMTC tried to decrease other activities and put the diploma training program as first priority as well as looking for foreign institutions such as JICA (as the counterpart); AIBD; and Deutsche Welle; etc. to be the sponsor for short term course programs.

(T/P)

TVRI dan RRI sebagai mitra.

9. CONCLUSIONS

Some conclusions can be derived from the prior description among others are :

1. Progress on education and training activities has been gained by MMTC in this year by the conducting the Broadcasting Journalism Study Program of Diploma II, as well as the short term courses programs in collaboration with JICA; Deutsche Welle; and AIBD.

2. The construction of the MMTC Expansion Project which covers :

- Joint Lecture Room,
- Programme Production Training Room,
- Language Laboratory,
- TV Studio,
- Radio Studio,
- Post Production Room,
- Video Editing Room,
- ENG Equipment Maintenance Room,
- Electronics Training Room,
- Radio Frequency Training Room, and
- Electric Power Training Room.

3. The opening and conducting of the Diploma III program with three (3) Program Studies of the Multi Media Training Centre in April 1992.

⑩ 合同委員会に提出された専門家チーム報告書

DOCUMENTS
FOR
THE THIRD JOINT
COMMITTEE MEETING

DECEMBER 1991

JICA EXPERT TEAM

MULTI MEDIA
TRAINING CENTRE

JL. MAGELANG KM. 6 YOGYAKARTA

C O N T E N T S

	PAGE
1. REPORT FOR THE JOINT COMMITTEE	1
2. LIST OF LONG-TERM EXPERTS	5
3. LIST OF SHORT TERM EXPERTS	6
4. COUNTERPART TRAINING IN JAPAN	8
5. LIST OF DONATED ARTICLES, 1990/1991	11
6. BUDGET FOR LOCAL EXPENDITURE	14
7. PROGRAM CONDUCTED AT MNTC	15
(NON-DIPLOMA SHORT TERM COURSE)	

December 13, 1991

REPORT FOR THE JOINT COMMITTEE
JICA Expert Team

First of all, on behalf of JICA expert team to MMTC, I wish to express my hearty appreciation to the Indonesian officials concerned for your whole hearted cooperation and understanding ever extended to us.

It is a great pleasure and a honour of us to join this joint committee, especially this time with the JICA official mission. I sincerely hope fruitful discussion will be done for the brilliant future of MMTC.

I. Introduction of JICA experts to MMTC

JICA Expert Team to MMTC now consists of five(5) members. Now let me introduce our members, (v. p.5)

Mr. Toshihiko Kosaki; Program Production (Apr. '91-Oct. '92),

Mr. Osamu Mukao; Post Production and Transmitting Engineering (Oct. '90-Oct. '92)

Mr. Kennichi Ikarugi; Program Production Engineering (Apr. '91-Oct. '92)

Mr. Hiroshi Suemitsu; Coordinator (Oct. '90-Oct. '91)

Mr. Shigeki Ueno; Team Leader, Program Compilation and News (Nov. '89-Oct. '92)

According to M/M on July 13, 1990 for the extension of technical cooperation, from October 21, 1990 up to October 20, 1992, our main duties are advisory and assistant work on arrangement of curricula and teaching materials for Diploma 2 and 3 courses. We are now making efforts in order to attain these purposes, in addition, we are cooperating for the second grant aid construction of the new facilities and equipment which will be accomplished by next March in 1992.

As for the present condition and activities in MMTC, Mr. Hoetojo Hourip, director of MMTC, has just reported in detail now. We, JICA Experts to MMTC, would like to mention our activities briefly and offer several proposals or suggestions on the most important matters.

II. Activities of JICA Expts to MMTC

1. Short Term Course

Inviting short term experts from Japan, we have special short term courses in which participants are not only MMTC instructors but also RRI and TVRI staff. These courses make up the newest knowledge or specific fields which we, long term experts, cannot cover. So far, thirty-four(34) experts came to MMTC, and about 550 participants took parts in the courses (v. p.6, p.15)

2. Counterpart Training in Japan

MMTC instructors as our counterparts are invited to Japan by JICA for one to three months and trained with newest broadcasting facilities and equipment in NHK and others. The training contributes a lot to deepen and broaden the ability of instructors of MMTC.

Forty-nine(49) MMTC instructors have been sent to Japan until now,
(v. p.8)

3. Observation trip

We sometimes conduct observation trip with our counterparts to regional stations, transmitting stations and other institutes or organizations. This year we visited several transmitting stations in central and East Java, Institute of Poli-Technique, TVRI, RRI, and SCTV in Surabaya, AIBD and RTM in Malaysia and so on. Observation trip is quite useful to know the actual condition of local stations and private stations, to exchange teaching know-how and teaching materials and in case of Malaysia to know the broadcasting level of a neighbouring country.

4. Daily Activities

Besides above mentioned activities, we are usually preparing or looking for teaching materials, attending classes and practices, having joint lectures, program studies, discussions and so on.

III. Donation of Equipment

Fundamental facilities and equipment are provided by JICA's Grant Aid Cooperation. In addition, the donation of equipment has been done totally about 510,000,000 yen up to 1989/90. In 1990/91, new equipment equivalent to 99,000,000 yen arrived recently. (v. p.11)

1. To fill up instructors

The quantity of instructors might be enough, but the quality of instructors is, in a sense, still short. I mean senior instructors are all well-qualified and experienced enough, but the quantity of them is small.

At the moment, December 1991, there are twenty eight(28) instructors and thirty one(31) assistant instructors nominated in MMTC. Full-time instructors, however, are only sixteen(16). Twelve(12) instructors are concurrently busy with administration work. Most of assistant instructors are highly educated and may be excellent in theoretical knowledge but regrettably still in lack of the experience of practical broadcasting work, because most of them are now graduates of universities. In order to acquire and enrich high-qualified instructors, we consider these counter-measures as follows,

- a) to improve the future career of the instructors based on their merit and achievement,
- b) to promote personnel exchanges with TVRI and RRI, because up-to-date knowledge and experience are indispensable for teaching broadcasting staff,
- c) to secure well-balanced instructors between news, program production experts and technical engineers, now in MMTC, especially instructors on news and program production are lacking.
- d) to make the most of D-3 graduates as instructors for the future, because D-3 students must be excellent and already have a lot of experience in each broadcasting station.
- e) to give opportunities to practice in R-TV stations as often as possible to the new assistant instructors.

2. Maintenance of equipment

Six(6) years have passed since MMTC was opened. Equipment is getting older and maintenance becomes much more important. In MMTC, maintenance system is fairly good and most of equipment are kept in good condition. We hope the maintenance system and staff members will be continued and developed further from now on, too. We, JICA advisors, are preparing for short term courses on maintenance in the next fiscal year, 1992/1993, in addition, we will do our best to provide the spare parts as much as possible for the existing equipment by JICA budget. But, we would like to suggest that Indonesian side also should be responsible for preparing the budget and staff enough to maintain the facilities and equipment.

3. Security of budget

In the fiscal year, 1992/1993, MMTC is going to start new D2 and D3 courses with the newly constructed facilities and equipment. The budget for MMTC has been considerably increasing in the recent few years. We hope MMTC can secure the budget enough to run and expand the courses year by year for the future.

4. Activities in future

In 1992, Diploma 3 classes are to be started. Diploma 3 students must be already experienced and qualified with ability on program production.

So, the broadcasting programs produced by them could be on practical use;

a) to be broadcast,

b) to receive orders on program production from outside (government or public organization)

c) to open short courses, for example, on '8mm video camera shooting' 'How to make video teaching materials', etc.

If these activities be permitted, it must be helpful for MMTC to get extra finances.

Finally, I would like to extend my deep appreciation to the honourable officials again. I am very much pleased to see that MMTC is growing up so rapidly in these years supported by all of you. I hope the kindest cooperation and understanding will be continued for a long time.

Indonesia may be, at the moment, still a developing country in the field of industry and economy, but from cultural and artistic point of view, Indonesia is already one of the highest and richest countries in the world, I believe. We, Japanese, have a lot of things to learn here in Indonesia, especially in Yogyakarta, the traditional and historical city.

We, JICA expert team, promise that we will do our best to fulfil our duty and contribute not only to the development of MMTC but also to promote mutual understanding and friendship between Indonesia and Japan.

Thank you very much for your kind attention.

Shigeki Ueno

Leader, JICA Expert Team to MMTC

LIST OF LONG-TERM EXPERTS

13-12-1991

ASSIGNMENT	NAME	DURATION
1. Programme Compilation	1. Katsumi Shiraishi 2. Akira Hasegawa 3. Shigeki Ueno	1984. 5. 16 - 1987. 10. 15 (Serving concurrently as team leader) 1987. 10. 5. - 1989. 10. 21 (Serving concurrently as team leader and news reporting expert) 1988. 7. 12 - 1992. 10. 21 (ditto)
2. Programme Production	1. Isao Sakamoto 2. Isamu Suzuki 3. Yuji Tokimatsu 4. Toshihiko Kosaki	1984. 7. 2 - 1987. 10. 15 1987. 7. 12 - 1988. 10. 21 1988. 10. 21 - 1991. 4. 21 1991. 4. 8 - 1992. 10. 21
3. News Reporting	1. Yoichi Isobe 2. Kaoru Fukuoka	1984. 7. 2 - 1986. 7. 1 1986. 7. 12 - 1988. 7. 11
4. Master Control and Post Production	1. Shuichiro Sonoda 2. Tsutomu Kato	1984. 7. 2 - 1986. 7. 1 1986. 9. 30 - 1988. 9. 29
5. Transmitter Engineering	1. Fumio Sato 2. Noboru Shimoji 3. Osamu Mukao	1984. 6. 15 - 1987. 10. 15 1987. 10. 5 - 1990. 10. 21 (Serving concurrently as team leader from 1989. 10. 21). 1990. 10. 9 - 1992. 10. 21 (Serving concurrently as master control and post production expert)
6. Production Engineering	1. Koji Ito 2. Kazuo Tate 3. Shoji Okano 4. Osamu Kobayashi 5. Kenichi Ikarugi	1984. 7. 2 - 1985. 9. 12 1986. 6. 18 - 1987. 6. 17 1987. 10. 5 - 1988. 10. 21 1988. 10. 21 - 1991. 4. 21 1991. 4. 8 - 1992. 10. 21
7. Coordinator	1. Shinji Shibata 2. Kozo Urakami 3. Tadashi Ikeshiro 4. Hiroshi Suemitsu	1984. 5. 30 - 1986. 6. 29 1986. 5. 12 - 1987. 10. 15 1987. 10. 5 - 1990. 10. 21 1990. 10. 9 - 1992. 10. 21
Total Number	23 Experts	

LIST OF SHORT-TERM EXPERTS

13-12-1991

A S S I G N M E N T	N A M E	D U R A T I O N
1984/1985 1. Administration and Management	Shintaro Watanabe	1984. 11. 18 - 1985. 1. 18
2. Art and design	Hiromi Saito	1984. 12. 8 - 1985. 1. 17
1985/1986 3. Administration and Management	Shintaro Watanabe	1985. 6. 10 - 1985. 9. 9
4. Film Processing	Tetsuo Natskeyama	1986. 1. 27 - 1986. 3. 26
1986/1987 5. Archival Film and Recording Tape Library	Masayasu Inada	1986. 3. 13 - 1986. 5. 12
6. News Editing	Fumio Takashi	1986. 9. 30 - 1986. 11. 29
7. Studio Lighting	Masaaki Takeuchi	- ditto -
8. Power Maintenance	Yoshihiro Endo	1986. 11. 4 - 1986. 12. 3
1987/1988 9. Settlement and Check of Transmitter	Takeshi Sawada	1987. 6. 8 - 1987. 6. 24
10. - ditto -	Akira Hayashi	1987. 6. 8 - 1987. 6. 29
11. Antena Engineering	Akira Ishii	1987. 9. 8 - 1987. 9. 22
12. Sound Effect	Shigeru Matsuzaki	1987. 11. 17 - 1987. 12. 24
13. Sound Mixing	Mitsuaki Shinoda	- ditto -
14. Audience Research	Shigeru Yokoyama	1988. 1. 18 - 1988. 2. 14
1988/1989 15. Reliability Theory and Maintenance	Norio Shimano	1988. 11. 5 - 1988. 12. 9
16. Receiving Technique	Akira Wajiki	1988. 11. 5 - 1988. 12. 9
17. Video Special Effect Techniques	Hiroshi Kouchi	1988. 11. 5 - 1988. 12. 9
1989/1990 18. School Broadcasting	Yoshiharu Matsuda	1989. 5. 15 - 1989. 6. 18
19. Mini Programmes	Fukuji Sasaki	1989. 5. 15 - 1989. 6. 18
20. Preservation of Visual Material	Hideo Kirishima	1989. 5. 15 - 1989. 6. 18
21. Educational Aspects of Broadcasting	Kensuke Kohno	1989. 9. 18 - 1989. 10. 22
(continued)		

1989/1990 (continued)		
22. Entertainment program	Kiichiro Ito	1989. 9. 18 - 1989. 10. 22
23. Outside Broadcasting	Masumi Sugiyama	1989. 11. 13 - 1989. 12. 9
24. Practical Maintenance Technique	Hiroshi Kouchi	1989. 11. 13 - 1989. 12. 9
25. Trend of New Media in Broadcasting	Takashi Sueoka	1990. 3. 12 - 1990. 4. 7
26. Acoustic Design on Architecture	Toshio Wakatsuki	1990. 3. 12 - 1990. 4. 7
1990/1991		
27. VTR Technique	Yuji Kagomiya	1990. 8. 20 - 1990. 9. 22
28. Digital Engineering	Ryo Asakawa	1990. 6. 20 - 1990. 9. 22
29. Studio Programme Production	Wakoto Sasaki	1991. 3. 18 - 1991. 4. 20
30. News Programme Material Gathering	Satoru Enokimaru	*1991. 3. 18 - 1991. 4. 20

* Mr. Enokimaru went back to Japan on 28 March by an unforeseen and inevitable matter on his own family, but this course of taken over and completed by Mr. Ueno, the leader to JICA team in MMTC.

C/P TRAINING IN JAPAN (1/3)

28 - 11 - 1991

Fiscal Year	No.	Name	Subject of Training Course	Duration	Period
1983/84	1.	Halim Nasir	Educational Television Programme	19. 1.84 - 15. 4.84	3 months
	2.	Ananto Pratikno	-ditto-	-ditto-	-ditto-
	3.	K o s a s i h	Colour Television Engineering	-ditto-	-ditto-
	4.	T u g i y o	-ditto-	-ditto-	-ditto-
1984/85	5.	Iping Madumpi	Radio Broadcasting Engineering	. 6.84 - . 9.84	3 months
	6.	Sugiyarto KD.	Television Broadcasting Management	19. 7.84 - 30.10.84	3.5 months
	7.	BWO Prayoga	Educational Programme	2. 8.84 - 30.10.84	-ditto-
	8.	Sjahan Nasution	-ditto-	-ditto-	-ditto-
	9.	Istyo Hartono	Colour Television Engineering	.12.84 - . 2.85	2 months
	10.	Harmen Hary	TV Graphic Design	7. 2.85 - 30. 3.85	-ditto-
	11.	Togar Lumban Radja	Management and Administration	-ditto-	-ditto-
1985/86	12.	Syahrir Kandung	Television Production Engineering	18. 7.84 - 3.11.85	3.5 months
	13.	I r i a n d i	Sound Engineering	-ditto-	3 months
	14.	Indrati Munandari	Programme Editing	1. 8.85 - 3.11.85	-ditto-
	15.	Bambang Winarso	Programme Production	-ditto-	-ditto-
1986/87	16.	Romain Rusdi	Educational Television Programme	5. 8.86 - 6.10.86	2 months
	17.	Elvi Listiorini	Broadcasting Library	16. 1.87 - 13. 3.87	2 months
	18.	Mooryantoro	Colour Television Engineering	18. 1.87 - 31. 3.87	2.5 months
	19.	Bambang Wilomo	Educational Television Programme	18. 1.87 - 5. 4.87	-ditto-
	20.	Maurice Simatupang	News and Broadcasting Training Management	20. 7.87 - 21. 5.87	2 months

C/P TRAINING IN JAPAN (2/3)

Fiscal Year	No.	Name	Subject of Training Course	Duration	Period
1987/88	21.	Martinus Suparwono	Educational Television Programme	20. 7.87 - 21. 9.87	2 months
	22.	Mohammad Sarpiih	Radio Transmitter Engineering	20. 7.87 - 14.10.87	3 months
	23.	Soeharno	Colour Television Engineering	20. 7.87 - 14.11.87	4 months
	24.	Joko Yudianto	Television Transmitter Engineering	-ditto-	-ditto-
	25.	Rachmad Sutadjo	Research Programme	1.11.87 - 31.12.87	2 months
	26.	Kartini	Educational Television Programme	18. 1.88 - 7. 3.88	1.5 months
	27.	Djudjur Setiawan	Electronic Data Processing for Government Information Activities	18. 1.88 - 18. 3.88	2 months
1988/89	28.	A. Tamadjoe	Television Broadcasting Management	4. 5.88 - 17. 6.88	1.5 months
	29.	Subakat	Colour Television Engineering	17. 7.88 - 25.10.88	3 months
	30.	Lembah Susanto	-ditto-	-ditto-	-ditto-
	31.	Sunaryo	Colour Television Engineering (II)	16. 1.89 - 4. 4.89	2.5 months
	32.	Djudjur Setiawan	-ditto-	-ditto-	-ditto-
	33.	Mulatonno	Administration Affairs in TV Station	30. 1.89 - 14. 3.89	2.5 months
1989/90	34.	Joseph Emanuel	TV Broadcasting Management	12. 5.89 - 23. 7.89	2.5 months
	35.	Mohammad Rusdi	-ditto-	-ditto-	-ditto-
	36.	Rini Wurdianti	TV News Current Affairs	17.10.89 - 19.11.89	1 month
	37.	Dwi Suryanto	Colour TV Engineering (II)	15. 1.90 - 4. 3.90	1.5 months
	38.	Karno	Measuring and Maintenance Engineering	20. 3.90 - 16. 5.90	2 months

C/P TRAINING IN JAPAN (3/3)

Fiscal Year	No.	Name	Subject of Training Course	Duration	Period
1990/91	39.	Endang Sulistyasari	TV Broadcasting Management	17. 5.90 - 24. 7.90	2 months
	40.	M. Fatchuri	Sound Slide Production	28. 6.90 - 2.10.90	3.5 months
	41.	Harmen Hary	Educational TV Programme	10. 7.90 - 2.10.90	3 months
	42.	Nurchaeni	-ditto-	-ditto-	-ditto-
	43.	Bagyo Kristanto	Television Engineering (I)	10. 7.90 - 16.10.90	3 months
	44.	Tommy Suprpto	TV Broadcasting Administration	8.10.90 - 12.11.90	1 month
	45.	Sudarmanto	-ditto-	-ditto-	1 month
	46.	B.A. Siswanto	Colour TV Engineering (advance)	14. 1.91 - 3. 3.91	2.5 months
1991/92	47.	Maurice Simatupan	TV Broadcasting Administration	13. 5.91 - 9. 7.91	2 month
	48.	Siswadi	Programing & Broadcasting Management (Advance)	27. 8.91 - 25. 9.91	1 month
	49.	Darwanto Sastro S.	Programing & Broadcasting Management	27. 8.91 - 25. 9.91	1 month

CLASSIFICATION BY SUBJECTS

Fisc. Year \ Subject	Management	Production	Engineering	Others	Total
1983/1984		2	2		4
1984/1985	2	3	2		7
1985/1986		2	2		4
1986/1987	1	2	1	1	5
1987/1988		2	3	2	7
1988/1989	1		4	1	6
1989/1990	2		2	1	5
1990/1991	3	2	2	1	8
1991/1992	3				3
total	12	13	18	6	49

LIST OF DONATED ARTICLES IN FISCAL YEAR 1990/1991

No. 1

Description of Articles	Unit Price (¥)	Quantity	Amount (¥)
Studio Training Equipments			
1) CCD CAMERA MKC-100 PROFESSIONAL	2,200,000	1	2,200,000
2) STANDARD ACCESSORY FOR CAMERA	252,500	1	252,500
3) OPTIONAL ACCESSORY FOR CAMERA	309,500	1	309,500
4) LENS PORTION	436,000	1	436,000
5) STEREO AUDIO MONITOR (MODEL:5835)	222,500	2	445,000
Location Training Equipments (video)			
1) VTR IN CAMERA (BVW-200P)	3,996,000	4	15,984,000
2) TV ZOOM LENS	990,000	4	3,960,000
3) TRIPOD DOLLY	315,000	4	1,260,000
4) BATTERY FOR CAMERA (NP-1B)	9,900	20	198,000
5) 8mm VIDEO CAMERA	563,220	10	5,632,200
6) RECHARGEABLE BATTERY PACK (NP-77H)	7,650	20	153,000
7) 8mm VIDEO CASSETTETAPE	1,980	100	198,000
8) 8mm VIDEO ACCESSORY	39,150	10	391,500
9) BATTERY DE MEMORIZER	97,200	1	97,200
10) VIDEO TAPE (H321E)	2,800	50	140,000
11) VIDEO TAPE (H321)	5,920	50	296,000
Location Training Equipments (audio)			
1) UHF WIRELESS MIC (WRT/R-28L)	473,400	2	946,800
2) DYNAMIC MICROPHONE (F-730)	16,560	2	33,120
3) ELECTRET CONDENSER MICROPHONE	48,000	2	96,000
4) BATTERY FOR MIC (LR6N1.5V)	150	40	6,000
5) MIXING AMP (SS-403)	291,600	1	291,600
6) DF CONDENSER MICROPHONE (MKH416)	688,550	1	688,550
7) WIRELESSINCOMM SYSTEM	771,100	1	771,100
8) BATTERY FOR INCOMM	575	12	6,900
9) MICROPHONE CABLE	5,850	10	58,500
10) HEADPHONE	6,000	10	60,000
Post Production Equipments			
1) COLOR SPECIAL EFFECTS GENERATOR (SBG2550)	1,404,000	1	1,404,000
2) AUTOMATIC EDITOR SYSTEM (BVE-910)	3,031,200	1	3,031,200
3) MICRO COMPUTER CG SYSTEM (SMC-70GP)	1,970,100	1	1,970,100
4) AUDIO MIXER (MXP-290)	405,000	1	405,000
5) TIME CODE GENERATOR (BVG-1600PS)	882,000	1	882,000
6) PORTABLE TIME CORD & CABLE	513,100	1	513,100
7) REVERBERATOR (MU-R201)	117,000	1	117,000
8) VIDEO CABLE	70,460	1	70,460
9) AUDIO CABLE	41,940	1	41,940

LIST OF DONATED ARTICLES IN FISCAL YEAR 1990/1991

No. 2

Description of Articles	Unit Price (¥)	Quantity	Amount (¥)
Video Editing Equipments			
1) VIDEO CASSETTE PLAYER (NVW-60P)	3,960,000	1	3,960,000
2) VIDEO CASSETTE RECORDER/PLAYER (DVW-70P)	5,715,000	1	5,715,000
3) VIDEO CASSETTE RECORDER (EVO-720P)	605,000	2	1,210,000
4) VIDEO MONITOR (PVM-1440QM)	122,000	4	488,000
5) AUTOMATIC EDITING SYSTEM (RM-450CE)	438,300	1	438,300
Animation Training Equipments			
1) QUICK ACTION RECORDER	2,111,000	1	2,111,000
2) ACCESSORIES	563,000	1	563,000
3) OPTION UNIT	1,763,000	1	1,763,000
Lecture Room Equipments			
1) COLOR VIDEO PROJECTOR & CABLE (VPH-1041Q)	1,064,400	2	2,128,800
2) 100INCH SCREEN & STAND (VPS-100HG1)	766,000	2	1,532,000
3) REMOTE CONTROL WITH WIRE (VPR-722S)	76,500	2	153,000
4) PROJECTOR SUPPORT (PSS-10)	61,200	1	61,200
5) PROJECTOR SUPPORT (PSS-722)	126,300	1	126,300
6) VIDEO TAPE RECORDER (NV-G500EM)	120,000	7	840,000
7) VIDEO TAPE RECORDER (SL-700ME MK1)	78,100	7	546,700
8) VIDEO MONITOR (PVM-1910Q)	207,000	2	414,000
9) COLOR TELEVISION RECEIVER (KV-2184MKTJ)	79,200	10	792,000
10) SIDE DESK CONSOLE (SU-601)	60,600	2	121,200
Design Training Equipments			
1) DISPLAY SET	1,311,000	5	6,555,000
2) ROTRING RAPIDGRAPH	18,200	5	91,000
3) STENSIL GUID	3,500	5	17,500
4) VARIOSQUIPT TYPE	64,000	15	960,000
5) BASIC DRAWING SET	4,650	10	46,500
6) DRAWING EQUIPMENTS (E-TYPE)	107,000	5	535,000
7) DRAWING EQUIPMENTS (ELLIPSOGRAPH)	31,600	5	158,000
8) DESIGN SUPPLIES (PIESCOM)	91,540	10	915,400
9) RINICON	33,000	3	99,000
10) DESIGN BRUSH	42,840	10	428,400
Office Equipments			
1) COPY MACHINE (RISOGRAPH RC5600)	2,222,000	1	2,222,000
2) PERSONAL COMPUTER (COMPAC DESK PRO386)	930,750	2	1,861,500
3) GRAPHICS COLOR MONITOR	128,350	2	256,700
4) SOFT WARE	371,800	1	371,800
5) FDD DISKETTE	1,136	200	227,200
6) UPS 1KVA 15MIN (BM1000-15FNA)	286,400	2	572,800
7) PRINTER FOR PERSONAL COMPUTER (SL-230A1)	191,650	2	383,300
8) PRINTER RIBBON	2,300	30	69,000

LIST OF DONATED ARTICLES IN FISCAL YEAR 1990/1991

No. 3

Description of Articles	Unit Price (¥)	Quantity	Amount (¥)
Office Equipments			
9) ELECTRONICS TYPEWRITER (EM-850FX)	379,000	1	379,000
10) TP MAKER (M-4550)	381,500	1	381,500
11) TP FILM	113,300	5	566,500
Practice Equipments			
1) MANUAL TYPEWRITER (M-1800)	48,000	15	720,000
2) RIBBON BLACK/RED	500	60	30,000
3) ELECTRONICS TYPEWRITER (AP-1000)	69,400	5	347,000
4) INK RIBBON	11,200	10	112,000
5) ELECTRONICS CALCULATOR (FX-992V)	8,000	30	240,000
Outside Broadcasting Van Equipment			
1) GENERATOR (DCA-85PK)	3,393,750	1	3,393,750
Program Production Equipment			
1) BECAM SOFTWARE	362,967	30	10,889,000
TOTAL			99,138,620

13-12-1991

BUDGET FOR LOCAL COST EXPENDITURE

Kind of Budgets	1983/84	1984/85	1985/86	1986/87	1987/88	1988/89	1989/90	1990/91	1991/92 (Budget)	Total
1. General cost for the activity of MTC staff and JICA experts	0	1.350	1.550	1.620	1.790	1.668	1.404	2.352	1.380	13.114
2. Provisional cost for the activity of MTC staff and JICA experts	0	301	1.222	1.153	968	*2 2.517	1.200	1.300	1.550	10.211
3. Cost for the counterparts (includes the cost for short-term-experts)	0	800	1.200	1.200	1.200	- 1.200	1.200	-1.200	1.200	9.200
4. Campaigning cost for MTC (cost for public relations of MTC)	0	0	0	672	3.000	0	3.000	1.200	1.400	9.272
5. Cost for emergent countermeasures	0	0	0	*1 Rp.7.500.000	0	*3 1.226	0	3.000	0	4.226 Rp.7.500.000
6. Cost for technical exchanges	0	0	0	0	0	0	0	0	1.800	1.800
7. Cost for making the textbooks in Indonesian language	0	0	0	0	1.000	0	2.000	1.100	1.800	5.900
8. Cost for the production of audio visual materials	0	0	0	0	0	2.000	2.000	2.200	3.800	10.000
Total		2.451	3.972	4.845 Rp.7.500.000	7.958	8.611	10.804	12.352	12.930	68.722 Rp.7.500.000

Unit 1.000 Yen

*1 Cost for renewal of water pump

*2 Cost for buying a facsimile, vacuum cleaner, floor polisher, binding machine and cost for business trip to Jakarta for JICA experts

*3 Cost for building water tower, etc.

PROGRAMME CONDUCTED AT MULTI MEDIA TRAINING CENTRE

Non Diploma Courses

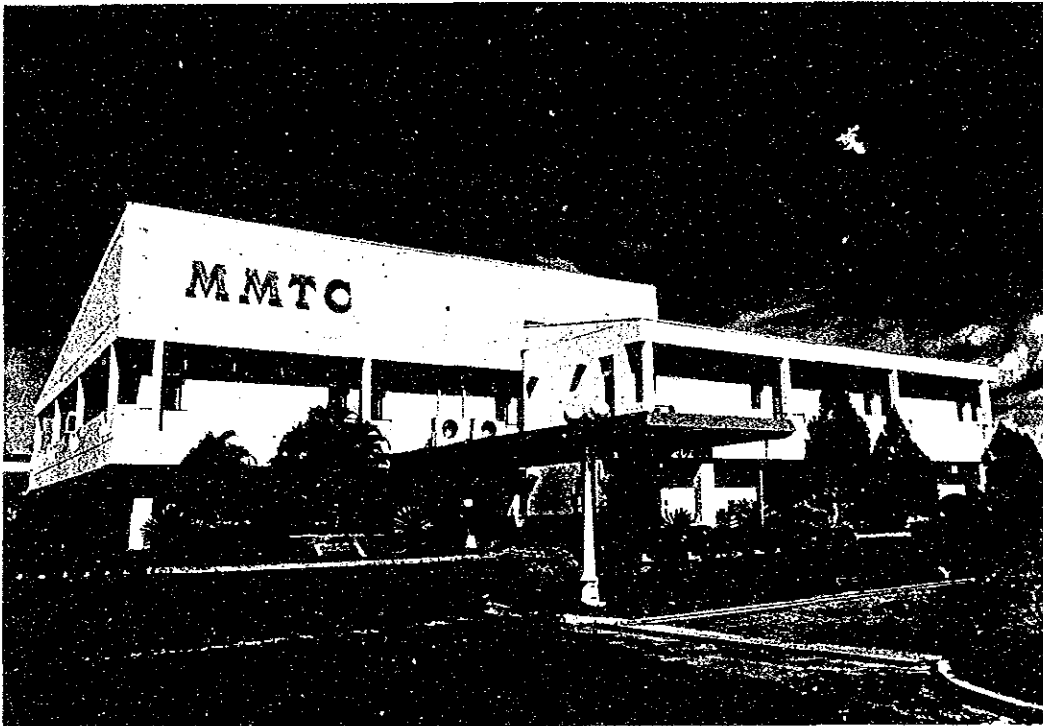
Fiscal Year	Programme Training Activities	Duration	Number of Students		Total Budget	Remarks
			Home	Overseas		
1985/1986	1. Training of Trainers 2. Music and Dance	18 days	24	-	Rp.	* Cooperation of JICA & Training Centre
		35 days	12	10	Rp.	* Financed by TV Training Centre & AIBD
1986/1987	1. Radio Transmission 2. TV Transmission 3. Introduction of TV Transmission 4. News Editing and Lighting Techniques 5. Power supply and Safety Engineering	39 days	25	-	Rp. 34.679.000	* Financed by Radio Training Centre
		3 months	24	-	Rp. 70.200.000	* TV TC's Project Budget with MMTC
		3 months	24	-	Rp.	* - ditto -
		48 days	15	-	Rp.	* Cooperation of JICA & MMTC
		16 days	15	-	Rp.	* - ditto -
1987/1988	1. TV Stage Design 2. Radio Programme Production 3. Maintenance of TV Studio Equipment 4. TV Drama Production 5. Radio Maintenance Technique 6. Antenna Engineering 7. Microwave technology 8. Sound Mixing and Sound Effect 9. Radio Programme Production 10. Introduction to Radio & TV Technology 11. News Reporter & Editing 12. Audience Research Editing 13. Broadcasting Management Radio & TV	19 days	6	10	Rp.	* Cooperation by ADAB & MMTC
		40 days	20	-	Rp.	* Financed by Radio TC
		6 months	12	-	Rp.	* Financed by TV TC
		30 days	12	-	Rp.	* - ditto -
		40 days	20	-	Rp.	* Financed by Radio TC
		6 days	10	-	Rp.	* Cooperation by JICA & MMTC
		26 days	12	-	Rp.	* Cooperation by AIBD & TVRI
		20 days	13	-	Rp.	* Cooperation by JICA & MMTC
		40 days	20	-	Rp.	* Financed by Radio TC
		20 days	10	-	Rp. 25.124.000	* Cooperation by MMTC & AKMIL Magelang
		20 days	10	-	-Rp.	* Cooperation by Directorate IC
		5 days	23	-	Rp.	* Financed by JICA & MMTC
		40 days	17	-	Rp.	* Cooperation by MMTC AIBD & ADAB
7 days	15	-	Rp.	* Cooperation by MMTC AIBD & ADAB		
1988/1989	1. Introduction of TV Transmission Technique 2. Rural Broadcasting 3. Increasing Professional Ability 4. Maintenance Technic for Radio Transmission 5. Basic of Radio Announcement 6. Movie Film Processing 7. The Continued Specialization 8. Measuring of TV Transmission Technique	3 months	18	-	Rp.	* Financed by TV TC
		40 days	18	-	Rp.	* Cooperation by CIDA AIBD & TVRI
		90 days	15	-	Rp. 13.550.000	* Routine Budget of MMTC
		40 days	20	-	Rp.	* Financed by Radio TC
		40 days	20	-	Rp.	* - ditto -
		3 days	15	-	Rp.	* Cooperation by MMTC Inter Delta Kodak
		20 days	37	-	Rp.	* Cooperation by JICA & MMTC
		31 days	12	-	Rp.	* Cooperation by AIBD & TV TC
1989/1990 (to be contd)	1. School Broadcasting 2. Mini Spot Programme	3 weeks	43	-	Rp.	* Cooperation by JICA & MMTC
		3 weeks	25	-	Rp.	* - ditto -

Fiscal Year	Programme Training Activities	Duration	Number of Students		Total Budget	Remarks
			Home	Overseas		
1989/1990 (contd)	3. Library	3 weeks	18	-	Rp.	* Cooperation by JICA & MNTC * Barai diklat Radio MNTC RIGD AIBD * Cooperation by Goethe Institute & MNTC * Cooperation BY JICA & MNTC * - ditto -
	4. DBU Broadcasting Production	1 week	14	-	Rp.	
	5. Traditional Medicines Programme on Radio	4 days	10	-	Rp.	
	6. Educational Aspects of Broadcasting & Improvement of Entertainment Programme	3 weeks	35	-	Rp.	
	7. Maintenance of Studio Equipment	2 weeks	36	-	Rp.	
	1. New Media in Broadcasting	2 weeks	29	-	Rp.	
	2. VTR Technic	3 weeks	25	-	Rp.	
1990/1991	3. Digital Engineering Technic	3 weeks	25	-	Rp.	* - ditto - * - ditto - * - ditto - * - ditto - * - ditto -
	4. News Gathering and Editing	3 weeks	23	-	Rp.	
	5. Studio Programme Production	3 weeks	23	-	Rp.	
	1. Project Organisation and Self Management for TV Drama Programmes	3 weeks	14	-	Rp.	
	2. Measurement Technics in Broadcasting	2 weeks	30	-	Rp.	
1991/1992	3. Microwave Technics in Broadcasting	2 weeks	30	-	Rp.	* Cooperation by JICA & MNTC * - ditto - * - ditto - * - ditto - * - ditto -
	4. Programming and Management of Broadcasting	3 weeks	30	-	Rp.	
	5. Documentary Planning and Production	3 weeks	30	-	Rp.	
	1. Project Organisation and Self Management for TV Drama Programmes	3 weeks	14	-	Rp.	
	2. Measurement Technics in Broadcasting	2 weeks	30	-	Rp.	
3. Microwave Technics in Broadcasting	2 weeks	30	-	Rp.		
4. Programming and Management of Broadcasting	3 weeks	30	-	Rp.		
5. Documentary Planning and Production	3 weeks	30	-	Rp.		

⑩ プロジェクト作成広報用パンフレット

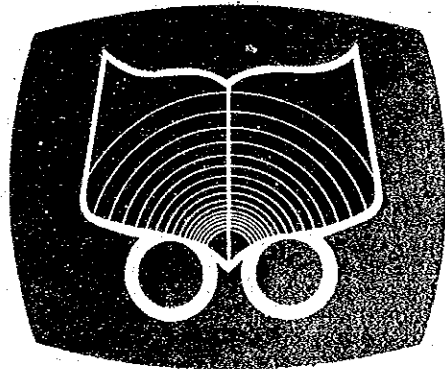
**MINISTRY OF INFORMATION
REPUBLIC OF INDONESIA**

MULTI MEDIA TRAINING CENTRE





**MINISTRY OF INFORMATION
REPUBLIC OF INDONESIA**



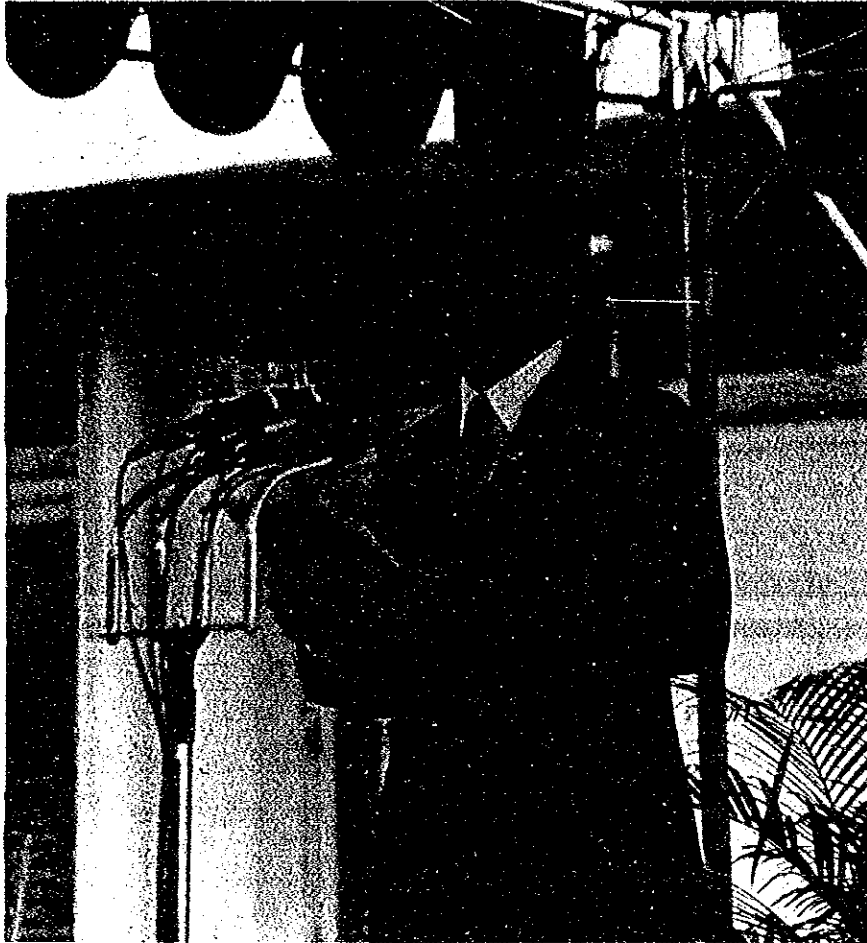
MULTI MEDIA TRAINING CENTRE (MMTC)

Jl. Magelang Km. 6
YOGYAKARTA, INDONESIA



The jobs on disseminating of information will be more toilsome and complex in the future. On one hand, the social problems which we are dealing with becoming more complicated and extensive, on the other hand, our community is becoming more intelligent, critical and dynamic.

(Inauguration of the Multi Media Training Centre by President of the Republic of Indonesia, **Mr. Soeharto**)



The human resources development is intended to create the development personnels who are productive, creative, innovative and discipline, orienting to the future for creating a better life.
(The Minister of Information - **Mr. H. Harmoko**)

A BRIEF MESSAGE

Welcome to Multi Media Training Centre (MMTC). The idea of constructing this institution had come up to the surface when Indonesia decided to enter the era of satellite technology. To cope the consequential impact in the application of high and sophisticated technology, the MMTC is expected to produce qualified personnels in the field of multi media technology.

At present this educational institution just provides the Study Programme of Radio and Television in the Diploma Programme System. And as due to limited facilities, only the employees of RRI (Radio of the Republic of Indonesia) and TVRI (Television of the Republic of Indonesia) can be accomodated in this training centre. According to the basic guidelines of the development planning, the training activities will be expanded to the other medias.

The curriculum and training activities are arranged to cover the needs of professional personnels in the radio and television broadcasting.

Hopefully the readers may get a glimpse of view on the profile of the Multi Media Training Centre from this small pamphlet.

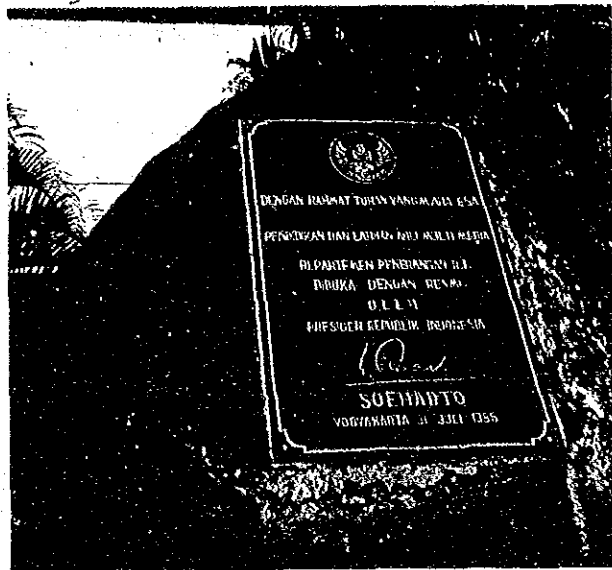
Thank you.

Yogyakarta, 2 January 1991.

Hoetojo Hoerip
Director

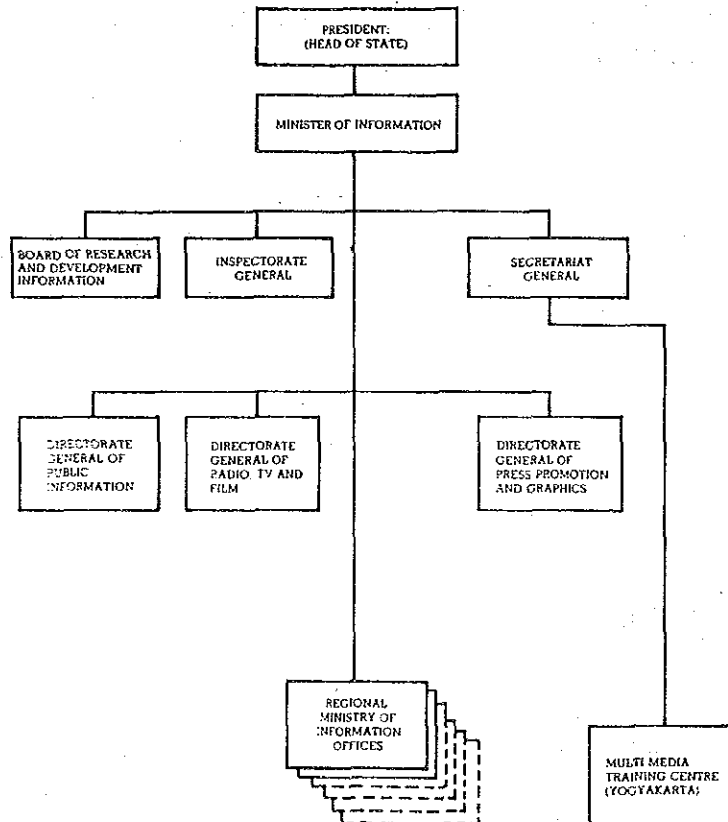
STATUS

The Multi Media Training Centre (MMTC), officially inaugurated on July 31, 1985, by President of the Republic of Indonesia - Mr. Soeharto, is an organization under the auspices of the Ministry of Information. The status was based on the Presidential Decree No. 59/1985, and the level of echelon is IIb according to the Presidential Decree no. 60/1985; while the organizational structure, under the Secretary General, was constituted by the Minister of Information's Decree no. 155B/1985.



The Inscription of MMTC Inauguration.

ORGANIZATION POSITION CHART



BUDGET

The project was financed by Japanese Government (Grant Aid and Technical Cooperation through Japan International Cooperation Agency - JICA) and Indonesian Government.

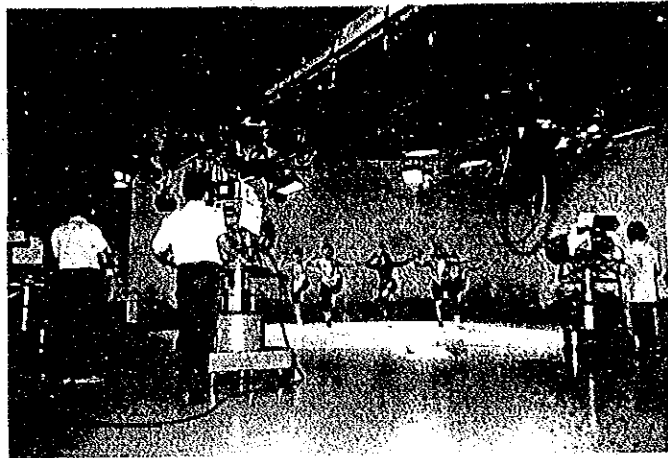
FACILITIES

The Multi Media Training Centre which occupies approximately 7 Ha of land, provides the following facilities:

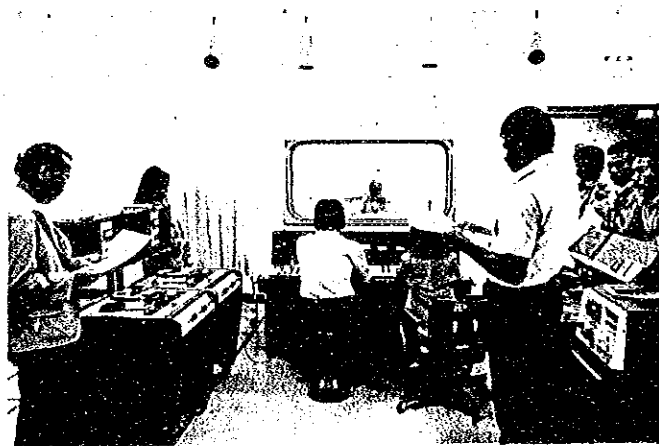
- Radio and TV Studios.
- Administration Office.
- Classrooms.
- Practicum Hall (R-TV).
- Workshop Room.
- Language Laboratory.
- Electronic Laboratory.
- Transmitter Room.
- Radio OB Van.
- TV OB Van.
- Auditorium.
- Library.
- Canteen.
- Housing & Dormitory.

MOTIVATION

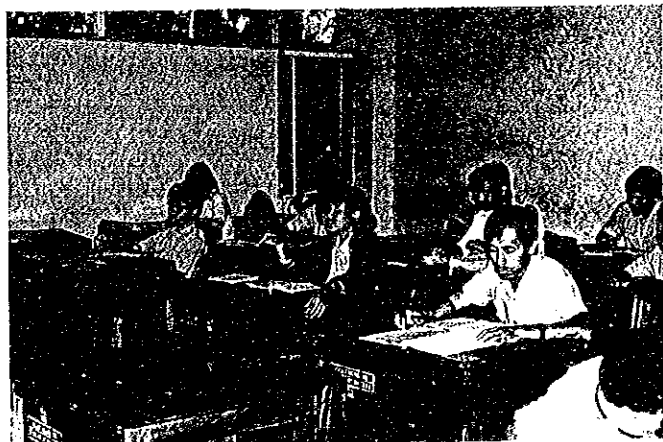
The idea of MMTC had arisen, mainly, since the domestic communication satellite "PALAPA" was launched in 1976. Necessarily all activities of the existing medias should utilize the products of sophisticated technology. And the MMTC was constructed to meet this challenge.



TV Production Activity



Radio Production Activity



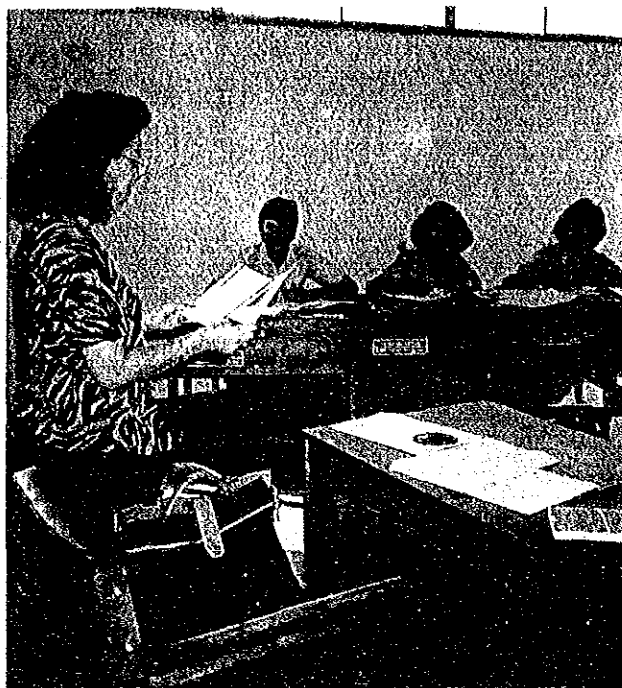
Attending Lecture

OBJECTIVES

The MMTC has the objectives to give education and training for information personnels, aimed at specialization and applicable in a profession tailored to the employable skills, in the spirit of national and character building based on the state philosophy of "PAN-CASILA".

ACHIEVEMENT

MMTC strives to create an "academic generation" in the Radio and Television Organization at the Ministry of Information.



Lecturing in the Classroom

DIPLOMA PROGRAMME

A terminal system is applied in conducting the Diploma Programmes. Each study programme is enrolled for one year. At present, the College of Radio and TV is running two Diploma Programmes: Diploma I and Diploma II Programmes. Then the Diploma III Programme will just be in operation in the academic year 1992/1993. The enrollment of Diploma I, II, III Programmes is based on the Minister of Education and Culture's Decree no. 1313/D/Q/85 on July 22, 1985.

The comparison between the university and MMTC education may be shown as follows:

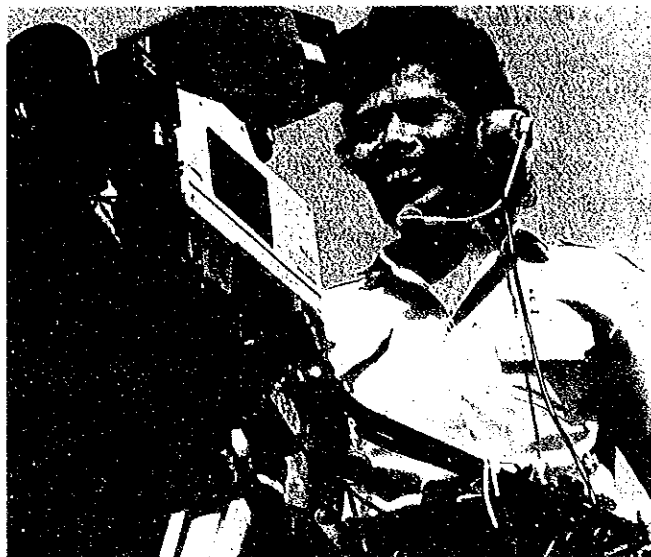
Shcolar Skills		Functional Skills	
University Degree		University non Degree- (MMTC)	
Doctor (Stratum 3 = S3)	228-233 CSS*) (16 - 22 SMS*)	Specialist II	
Master (Stratum 2 = S2)	180 - 194 CSS (12 - 18 SMS)	Specialist I	
Doctorandus (Stratum 1 = S1)	144 - 160 CSS (8 - 14 SMS)	Diploma IV	
Yunior/Bachelor (Stratum 0 = S0)	110 - 120 CSS (6 - 11 SMS)	Diploma III	
Sophomore	80 - 90 CSS (4 - 6 SMS)	Diploma II	
Freshmen	40 - 50 CSS (2 - 4 SMS)	Diploma I	
Senior High School 3 Years (General/Vocational)			
Yunior High School 3 Years (General/Vocational)			
Elementary School 5 Years (General/Vocational)			

*) CSS = Credit Semester Systems

*) SMS = Semesters

STUDY PROGRAMMES

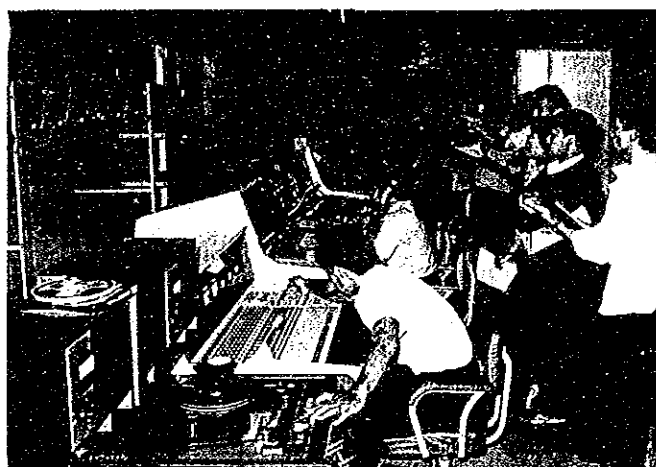
1. Diploma I Programme.
 - 1.1. Programmes Compilation Planning.
 - 1.2. Program Lines Production.
 - 1.2. News and Current Affairs Reporting.
 - 1.4. Studio and Master Control Technique Operation.
 - 1.5. Transmission Operation.
2. Diploma II Programme.
 - 2.1. Programmes Broadcasting Planning.
 - 2.2. Program Package Production.
 - 2.3. Script/Story Writings.
 - 2.4. Broadcasting Performances.
 - 2.5. Broadcast Journalism.
 - 2.6. Studio Production Technique
 - 2.7. Technical Repair for Studio and Master Control Equipment.
 - 2.8. Transmission Technique.
3. Diploma III Programme.
 - 3.1. Broadcasting Management.
 - 3.2. Program News and Information Productions.
 - 3.3. Program Education and Religion Productions.
 - 3.4. Program Cultural and Entertainment Productions.
 - 3.5. Technical and Artistic Production Designs.
 - 3.6. Scenario and Storyboard Writings.
 - 3.7. Public Speech and Drama Castings.
 - 3.8. Production Studio Engineering.
 - 3.9. Post Production and Master Control Engineering.
 - 3.10. Transmission Engineering and Maintenance.
 - 3.11. Studio and Master Control Equipment Maintenance Engineering.



Camera Operating Practice



Outside Broadcasting Activity



TV Production Activity

CURRICULUM

The curriculum is based on Semester Credit System consisting of 150 - 170 minutes for one credit's value. It composes of one third in the classroom, one third in structurized pattern and one third in self study acitivities.

GRADUATES

By the academic year 1990/1991 the MMTC has conducted the 6th enrollment of Diploma I and the 2nd enrollment of Diploma II, and graduated 496 persons of D-I Programme and 67 persons of D-II Programme.

HUMAN RESOURCES DEVELOPMENT

The Multi Media Training Centre is the operational body of the Secretariate General of the Ministry of Information. It is a technical operation unit to develop the human resources. Two kinds of experties in the Ministry of Information are the Managerial Skills and the Functional Skills. The MMTC is primarily concerned with the Functional Skills. It covers the specialized field in journalistic skills, performing arts, cinematographic work, eletronic and electric skills, printed media, face-to-face communication, film, video, and other media sciences.



TV Post Production



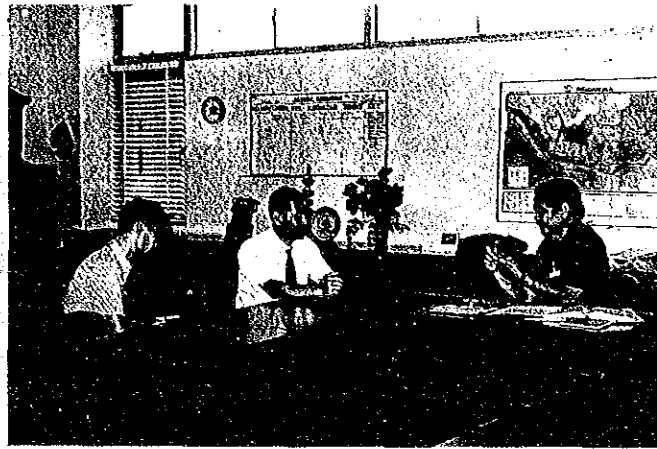
Class Discussion



Transmitter Laboratory

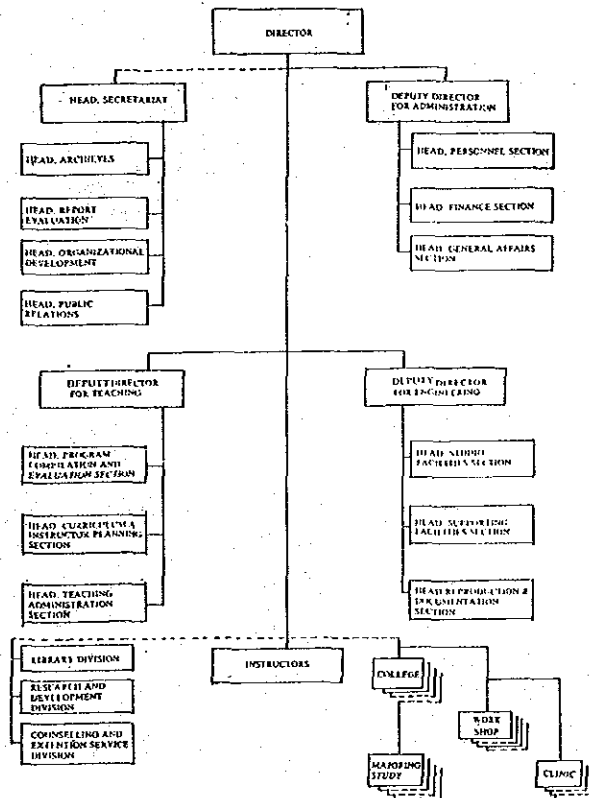
DEVELOPMENT

At present the MMTC offers the study programmes leading to Diploma I, II, III, and plans to expand the studies leading to Diploma IV, Specialist I and II (post graduate study). This institution is now running the College of Radio and TV, and will be expanded to the Colleges of Film and Video, Print and Publication, and General Informations. In the 1991/1992 the construction of the second expansion of MMTC began with the assistance of the Japanese Government.



Dialogue between MMTC Director - Mr. Hoetojo Hoerip (right) and Mr. Shigeki Ueno (centre) - JICA Team Leader to MMTC.

ORGANIZATION CHART OF MMTC



Legend:
 — Structural function
 non Structural function

INSTRUCTORS

To cope with this highly organized education, instructors are being re-educated both at home and abroad such as Japan, Germany, and AIBD Malaysia.

JICA CONSULTANTS

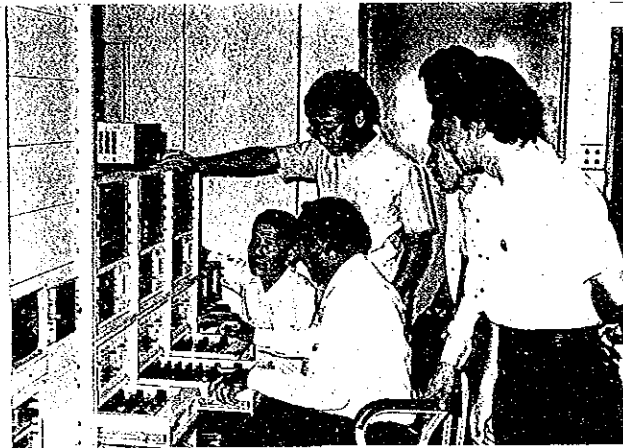
Five Japanese consultants are attached to MMTC in five specialized fields such as Programming, Programme Production, News Production, Studio Engineering, and Transmitter Engineering.

OTHER ACTIVITIES

The MMTC also shares some of its facilities for other activities such as seminar, symposium, workshop, short-term course in cooperation with regional or international institute of education and training to increase knowledge.



Radio Production Activity



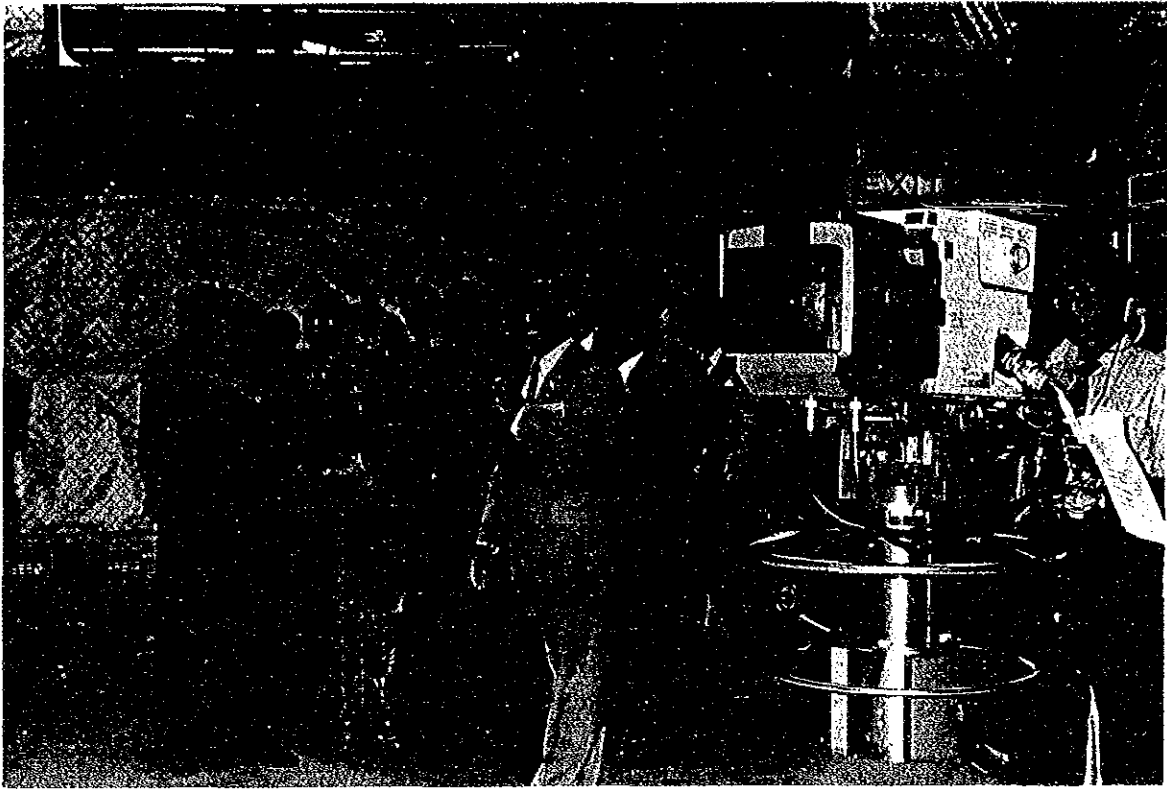
TV Equipment Adjustment



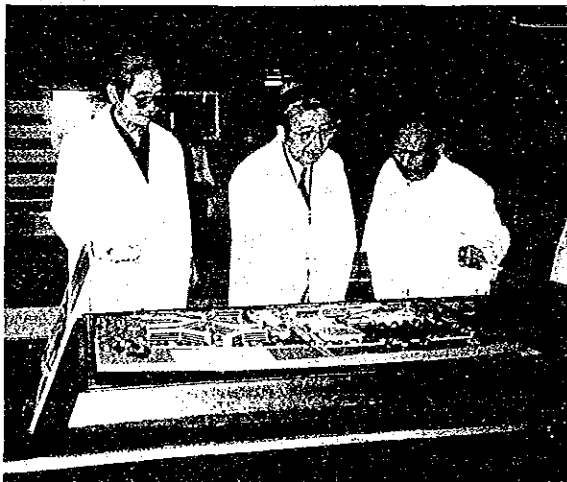
Seminar on "Agriculture Programmes Through Radio - Television".



Participants of Seminar on "Agriculture Programmes Through Radio - Television".



President Soeharto and Mrs. Tien Soeharto visited the TV Studio



The Visit of the Japanese Ambassador - Mr. Michihiko Kunihiro (centre) accompanied by Mr. Hoetojo Hoerp (left) and Mr Noboru Shimoji (right).



The President of Gadjah Mada University - Prof. DR. Ir. Mochamad Adnan, M.Sc. (centre) visited MMITC accompanied by Mr. Drs. R.M. Simatupang (right) and Mr. Siswadi (left)

Students' Extra - Curriculum Activities

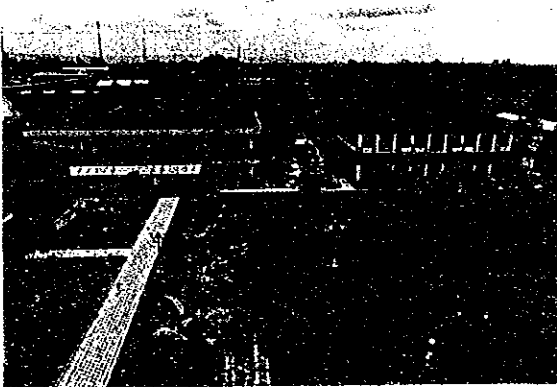




Canteen



Library



Site for Expansion of MMTC, Phase II



Dormitory

MULTI MEDIA TRAINING CENTRE (MMTC)

Jl. Magelang Km. 6,
Yogyakarta 55284,
INDONESIA

Ph. (0274) 86512, 86561, 61531, 62513.

Fx. 63383.

Tlx. 25169.



Expansion of MMTC, Phase II

JICA